臺灣日日新報 昭和七年五月四日 (第二版)（原誌數種）（仲仲一年五月九日第三種郵便物認可）

臺灣日日新報

五月三日 夕刊定価一部一錢

軍事小委員會 一日終了して解散

蘇州河、浦東問題も解決し 日支雙方からコムミユニケ發表

【上海二日發電通】停戰會議軍事小委員會は一日午後六時開會同八時半散會したが蘇州河並に浦東問題解決し日支雙方から左のコムミユニケを發表した
軍事小委員會は二日午後六時から開き本會議に報告するに決した、委員會は之を以て解散に決す
【上海二日發聯合】兩司令部發表、兩小委員會は本委員會から委託された任務の一部を本日の會議で終了し解散せらるる筈である

小委員會の解決要點

【上海二日發電通】停戰會議本會議は二日の小委員會の報告三日午前十時から開會と決定した、小委員會は決定した蘇州河、浦東兩地區に關し支那軍撤退後の兩地區警備に關し支那側は停戰期間駐兵の移動を爲さずとの約束で解決した、而してその詳細の點は兩司令部に於て協定せらるに決した

停戰協定正式に成立

派遣軍司令部は本月末引揚に決定

【上海二日發聯合】停戰協定は本日の小委員會を以つて愈々正式に成立し派遣軍司令部は本月末引揚に決した

浦東に支那軍の駐留 日本として同意出來ぬ

陸軍の態度決定して回訓

【東京三日發電通】陸軍當局は上海停戰協定に關し交渉に當つてゐる植田軍司令官に對し最後の回訓を發したが、その要旨は次の如きものである
一、上海日本租界の對岸にある浦東三角地帶に支那軍が撤退後の警備に當ることは日本租界の安寧秩序を保持する上に於て重大なる關係を有するが故に此の際は如何なる場合に於ても同地區に支那軍が入ることは日本として欲しない、治安維持は要領限にて充分その目的を達し得ると認むるを以て此の點を強く主張すること
二、日本軍の撤退は上海附近の情勢が全く平穩に復し支那軍の敵對行爲の危險全く去りたりと認めらるる迄は此の線に止まること
三、日本軍の撤退は上海附近の情勢が全く平穩に復し支那軍の敵對行爲の危險全く去りたりと認めらるる迄は此の線に止まること
四、日本軍の撤退は上海附近の情勢が全く平穩に復し支那軍の敵對行爲の危險全く去りたりと認めらるる迄は此の線に止まること
【南京三日發電通】陸軍當局は上海停戰協定に關し交渉に當つてゐる植田軍司令官に對し最後の回訓を發したが、その要旨は次の如きものである
一、上海日本租界の對岸にある浦東三角地帶に支那軍が撤退後の警備に當ることは日本租界の安寧秩序を保持する上に於て重大なる關係を有するが故に此の際は如何なる場合に於ても同地區に支那軍が入ることは日本として欲しない、治安維持は要領限にて充分その目的を達し得ると認むるを以て此の點を強く主張すること
二、日本軍の撤退は上海附近の情勢が全く平穩に復し支那軍の敵對行爲の危險全く去りたりと認めらるる迄は此の線に止まること
三、日本軍の撤退は上海附近の情勢が全く平穩に復し支那軍の敵對行爲の危險全く去りたりと認めらるる迄は此の線に止まること
四、日本軍の撤退は上海附近の情勢が全く平穩に復し支那軍の敵對行爲の危險全く去りたりと認めらるる迄は此の線に止まること

學良便衣隊の 攪亂計畫具體化

判明せる最近の策謀

【奉天三日發電通】調査團委員の入滿を動機として北滿の治安を攪亂せんとする學良便衣隊の策動は愈々具體化せんとしつつあり、調査團の吉林訪問を機として反吉林派及び脫團をして東支東部線方面より擾亂をなさしむ
二、調査團のハルビン入りに際しては便衣隊をもつて極力ハルビン提灯を期す
三、調査團がチチハルより瀋陽線に依り歸途の途に就いた時は錦江の鐵橋を破壊す
四、通遼方面の匪賊團をして四洮線の鐵道を破壊的に破壊す

郭泰祺襲はる

自宅に學生が侵入し 顔面に裂傷を負ふ

（上海三日發電通至急報）郭泰祺は今朝自宅に學生四、五十名に襲はれ顔面に裂傷を負ひ昏倒した

犯人學生捕はる

犯人の學生六名逮捕された、郭泰祺は病床で停戰交渉は續けると語つてゐる

精鍊所を設け 產金量の增進を圖れ

金瓜石鑛山を視察し 南總督は語る

去る二日二日の總督金瓜石鑛山を視察した南總督は大要左の如く感想を語つた
余は昨年見參平島木更津から眺望した時は一帶の山骨露々として實に荒寥たる感を抱いたが、今回この鑛山に來つて多數の雄鷄が雄雌しかも羽毛も山骨露々として居る點に於つて眞の景觀が一變して來た
余は實に此の鑛山の發展を感じた、更にこの鑛山の發展を圖るにはその他を措いて精鍊所を設けるの必要を感じた、精鍊所を設けて產金量の增進を圖れば、從業員の增加は勿論、地方の繁榮にも大なる影響を與へるであらう、精鍊所の設置は目下經濟界の不況時代であるから、容易に實現は困難であらうが、將來は必ず實現せねばならぬ問題である、精鍊所の設置は目下經濟界の不況時代であるから、容易に實現は困難であらうが、將來は必ず實現せねばならぬ問題である

滿洲國中央銀行 近く開業の段取

副總裁に山成喬六氏

（東京支局特電三日發）滿洲國中央銀行の設立については既に二月、三菱より二千萬圓の出資を決定し山成喬六氏は滿洲國の財務に關して

聯盟調査團 新京に到著

嚴重な警戒振り

【新京二日發電通】リットン調査團は豫定の通り二日午後二時三十分新京着した、一行は總勢七十餘名の大勢で出迎への滿外交官多數と共に新京驛頭に整列し一行は滿洲國側と握手を交し同行の聯盟事務局員と共に自動車二臺に分乘して滿鐵ホテルに入つた、此の日日滿兩國の警察當局は嚴重なる警戒振りを發揮し驛頭から滿鐵ホテルに至る沿道は警官隊を以て嚴重に警戒した

國民政府會議 十日洛陽に召集

【南京二日發電通】國民政府は十日洛陽に第二回の國民會議を召集することに決定した
一、國民代表會議召集の件
二、一般大赦案
三、外國の侵迫に對する國防案
四、水害救濟案

第一回投票は 政府派優勢

八日の第二回投票が 最後的分野決定

【パリ二日發聯合】昨日施行された佛國西總選擧は後の結果によれば政府派百三十一、反政府派百二十、決選投票を必要とするもの三百五十六、絕對多數を以てゐるが佛政局の最後的分野は來る八日行はれる第二回投票で決すべく金融社會筋の觀測は概ね樂觀を許さない

調査委員の 中間報告

理事國代表へ配付

【ゼネバ二日發電通】支那調査委員の中間報告は一日夜到着したがフランス譯文作製の爲二日午後二時理事國代表へ配付された

大口、山崎兩氏に 藏相再考を促す

與黨の不動產資金化案で

一、政府はその資金を動員、興銀その他の低利債券に充つ、その利率は二分五厘以内たる事
一、興銀はその資金で地方銀行の有する不動產債券を肩代り又はそれを擔保として直接資金の融通を爲す事
一、政府が推奬せんとする一定の限度以上に融通を爲したる場合はその差額の為國家が補償す

無絃琴

明治二十八年の頃某夕々、時の內閣總理大臣伊藤博文公が此の客間へ乘り込んで來て六月十七日の始政式に列り且つ其の翌日付の臺灣總督府の役職長官を御付けた▲その頃淡水の役職長官の官は大變に評判がよいので伊藤さんも行つて休養したがその折樺山資紀の客を御つて三輪の舟をかいたさうだ、其の中の一つを役職長から山口利夫といふ監獄官が乘り受けた後に之を無儀太郎君に讓つた、無君は更に之を役職へ寄附しその役職に據げられてある雄蕊なる赤「淡水骨董」の一幅である▲もう一幅は明治の時代に今尚健在であるさうだ、同君も元は總督官邸長官などを勤めてゐた役職出であつた、從つて一幅が役職へ行つたか否か目下調べ中だが、一つだから是非そのありかを探したいと思つてゐるが今のところ知れ難い、野村老二といふ人が初代の役職長だとすると或はそこらにでもありにしないか▲人の話にでもきいたら判るであらうかの「新竹風」にも大幅に似た物が、客室へ掛つてゐるといふ、扁額かも知れぬ、一以下の額は殘されてゐるといふ話で、これに於て世界の珍物から見て最高の事

大口、山崎兩氏に 藏相再考を促す

與黨の不動產資金化案で

一、政府はその資金を動員、興銀その他の低利債券に充つ、その利率は二分五厘以内たる事
一、興銀はその資金で地方銀行の有する不動產債券を肩代り又はそれを擔保として直接資金の融通を爲す事
一、政府が推奬せんとする一定の限度以上に融通を爲したる場合はその差額の為國家が補償す

國民政府會議 十日洛陽に召集

【南京二日發電通】國民政府は十日洛陽に第二回の國民會議を召集することに決定した
一、國民代表會議召集の件
二、一般大赦案
三、外國の侵迫に對する國防案
四、水害救濟案

第一回投票は 政府派優勢

八日の第二回投票が 最後的分野決定

【パリ二日發聯合】昨日施行されたる佛國西總選擧は後の結果によれば政府派百三十一、反政府派百二十、決選投票を必要とするもの三百五十六、絕對多數を以てゐるが佛政局の最後的分野は來る八日行はれる第二回投票で決すべく金融社會筋の觀測は概ね樂觀を許さない

調査委員の 中間報告

理事國代表へ配付

【ゼネバ二日發電通】支那調査委員の中間報告は一日夜到着したがフランス譯文作製の爲二日午後二時理事國代表へ配付された

聯盟調査團 新京に到著

嚴重な警戒振り

【新京二日發電通】リットン調査團は豫定の通り二日午後二時三十分新京着した、一行は總勢七十餘名の大勢で出迎への滿外交官多數と共に新京驛頭に整列し一行は滿洲國側と握手を交し同行の聯盟事務局員と共に自動車二臺に分乘して滿鐵ホテルに入つた、此の日日滿兩國の警察當局は嚴重なる警戒振りを發揮し驛頭から滿鐵ホテルに至る沿道は警官隊を以て嚴重に警戒した

小委員會の解決要點

【上海二日發電通】停戰會議本會議は二日の小委員會の報告三日午前十時から開會と決定した、小委員會は決定した蘇州河、浦東兩地區に關し支那軍撤退後の兩地區警備に關し支那側は停戰期間駐兵の移動を爲さずとの約束で解決した、而してその詳細の點は兩司令部に於て協定せらるに決した

停戰協定正式に成立

派遣軍司令部は本月末引揚に決定

【上海二日發聯合】停戰協定は本日の小委員會を以つて愈々正式に成立し派遣軍司令部は本月末引揚に決した

浦東に支那軍の駐留 日本として同意出來ぬ

陸軍の態度決定して回訓

【東京三日發電通】陸軍當局は上海停戰協定に關し交渉に當つてゐる植田軍司令官に對し最後の回訓を發したが、その要旨は次の如きものである
一、上海日本租界の對岸にある浦東三角地帶に支那軍が撤退後の警備に當ることは日本租界の安寧秩序を保持する上に於て重大なる關係を有するが故に此の際は如何なる場合に於ても同地區に支那軍が入ることは日本として欲しない、治安維持は要領限にて充分その目的を達し得ると認むるを以て此の點を強く主張すること
二、日本軍の撤退は上海附近の情勢が全く平穩に復し支那軍の敵對行爲の危險全く去りたりと認めらるる迄は此の線に止まること
三、日本軍の撤退は上海附近の情勢が全く平穩に復し支那軍の敵對行爲の危險全く去りたりと認めらるる迄は此の線に止まること
四、日本軍の撤退は上海附近の情勢が全く平穩に復し支那軍の敵對行爲の危險全く去りたりと認めらるる迄は此の線に止まること

學良便衣隊の 攪亂計畫具體化

判明せる最近の策謀

【奉天三日發電通】調査團委員の入滿を動機として北滿の治安を攪亂せんとする學良便衣隊の策動は愈々具體化せんとしつつあり、調査團の吉林訪問を機として反吉林派及び脫團をして東支東部線方面より擾亂をなさしむ
二、調査團のハルビン入りに際しては便衣隊をもつて極力ハルビン提灯を期す
三、調査團がチチハルより瀋陽線に依り歸途の途に就いた時は錦江の鐵橋を破壊す
四、通遼方面の匪賊團をして四洮線の鐵道を破壊的に破壊す

郭泰祺襲はる

自宅に學生が侵入し 顔面に裂傷を負ふ

（上海三日發電通至急報）郭泰祺は今朝自宅に學生四、五十名に襲はれ顔面に裂傷を負ひ昏倒した

犯人學生捕はる

犯人の學生六名逮捕された、郭泰祺は病床で停戰交渉は續けると語つてゐる

精鍊所を設け 產金量の增進を圖れ

金瓜石鑛山を視察し 南總督は語る

去る二日二日の總督金瓜石鑛山を視察した南總督は大要左の如く感想を語つた
余は昨年見參平島木更津から眺望した時は一帶の山骨露々として實に荒寥たる感を抱いたが、今回この鑛山に來つて多數の雄鷄が雄雌しかも羽毛も山骨露々として居る點に於つて眞の景觀が一變して來た
余は實に此の鑛山の發展を感じた、更にこの鑛山の發展を圖るにはその他を措いて精鍊所を設けるの必要を感じた、精鍊所を設けて產金量の增進を圖れば、從業員の增加は勿論、地方の繁榮にも大なる影響を與へるであらう、精鍊所の設置は目下經濟界の不況時代であるから、容易に實現は困難であらうが、將來は必ず實現せねばならぬ問題である、精鍊所の設置は目下經濟界の不況時代であるから、容易に實現は困難であらうが、將來は必ず實現せねばならぬ問題である

滿洲國中央銀行 近く開業の段取

副總裁に山成喬六氏

（東京支局特電三日發）滿洲國中央銀行の設立については既に二月、三菱より二千萬圓の出資を決定し山成喬六氏は滿洲國の財務に關して

國民政府會議 十日洛陽に召集

【南京二日發電通】國民政府は十日洛陽に第二回の國民會議を召集することに決定した
一、國民代表會議召集の件
二、一般大赦案
三、外國の侵迫に對する國防案
四、水害救濟案

第一回投票は 政府派優勢

八日の第二回投票が 最後的分野決定

【パリ二日發聯合】昨日施行されたる佛國西總選擧は後の結果によれば政府派百三十一、反政府派百二十、決選投票を必要とするもの三百五十六、絕對多數を以てゐるが佛政局の最後的分野は來る八日行はれる第二回投票で決すべく金融社會筋の觀測は概ね樂觀を許さない

調査委員の 中間報告

理事國代表へ配付

【ゼネバ二日發電通】支那調査委員の中間報告は一日夜到着したがフランス譯文作製の爲二日午後二時理事國代表へ配付された

聯盟調査團 新京に到著

嚴重な警戒振り

【新京二日發電通】リットン調査團は豫定の通り二日午後二時三十分新京着した、一行は總勢七十餘名の大勢で出迎への滿外交官多數と共に新京驛頭に整列し一行は滿洲國側と握手を交し同行の聯盟事務局員と共に自動車二臺に分乘して滿鐵ホテルに入つた、此の日日滿兩國の警察當局は嚴重なる警戒振りを發揮し驛頭から滿鐵ホテルに至る沿道は警官隊を以て嚴重に警戒した

小委員會の解決要點

【上海二日發電通】停戰會議本會議は二日の小委員會の報告三日午前十時から開會と決定した、小委員會は決定した蘇州河、浦東兩地區に關し支那軍撤退後の兩地區警備に關し支那側は停戰期間駐兵の移動を爲さずとの約束で解決した、而してその詳細の點は兩司令部に於て協定せらるに決した

停戰協定正式に成立

派遣軍司令部は本月末引揚に決定

【上海二日發聯合】停戰協定は本日の小委員會を以つて愈々正式に成立し派遣軍司令部は本月末引揚に決した

浦東に支那軍の駐留 日本として同意出來ぬ

陸軍の態度決定して回訓

【東京三日發電通】陸軍當局は上海停戰協定に關し交渉に當つてゐる植田軍司令官に對し最後の回訓を發したが、その要旨は次の如きものである
一、上海日本租界の對岸にある浦東三角地帶に支那軍が撤退後の警備に當ることは日本租界の安寧秩序を保持する上に於て重大なる關係を有するが故に此の際は如何なる場合に於ても同地區に支那軍が入ることは日本として欲しない、治安維持は要領限にて充分その目的を達し得ると認むるを以て此の點を強く主張すること
二、日本軍の撤退は上海附近の情勢が全く平穩に復し支那軍の敵對行爲の危險全く去りたりと認めらるる迄は此の線に止まること
三、日本軍の撤退は上海附近の情勢が全く平穩に復し支那軍の敵對行爲の危險全く去りたりと認めらるる迄は此の線に止まること
四、日本軍の撤退は上海附近の情勢が全く平穩に復し支那軍の敵對行爲の危險全く去りたりと認めらるる迄は此の線に止まること

學良便衣隊の 攪亂計畫具體化

判明せる最近の策謀

【奉天三日發電通】調査團委員の入滿を動機として北滿の治安を攪亂せんとする學良便衣隊の策動は愈々具體化せんとしつつあり、調査團の吉林訪問を機として反吉林派及び脫團をして東支東部線方面より擾亂をなさしむ
二、調査團のハルビン入りに際しては便衣隊をもつて極力ハルビン提灯を期す
三、調査團がチチハルより瀋陽線に依り歸途の途に就いた時は錦江の鐵橋を破壊す
四、通遼方面の匪賊團をして四洮線の鐵道を破壊的に破壊す

郭泰祺襲はる

自宅に學生が侵入し 顔面に裂傷を負ふ

（上海三日發電通至急報）郭泰祺は今朝自宅に學生四、五十名に襲はれ顔面に裂傷を負ひ昏倒した

犯人學生捕はる

犯人の學生六名逮捕された、郭泰祺は病床で停戰交渉は續けると語つてゐる

精鍊所を設け 產金量の增進を圖れ

金瓜石鑛山を視察し 南總督は語る

去る二日二日の總督金瓜石鑛山を視察した南總督は大要左の如く感想を語つた
余は昨年見參平島木更津から眺望した時は一帶の山骨露々として實に荒寥たる感を抱いたが、今回この鑛山に來つて多數の雄鷄が雄雌しかも羽毛も山骨露々として居る點に於つて眞の景觀が一變して來た
余は實に此の鑛山の發展を感じた、更にこの鑛山の發展を圖るにはその他を措いて精鍊所を設けるの必要を感じた、精鍊所を設けて產金量の增進を圖れば、從業員の增加は勿論、地方の繁榮にも大なる影響を與へるであらう、精鍊所の設置は目下經濟界の不況時代であるから、容易に實現は困難であらうが、將來は必ず實現せねばならぬ問題である、精鍊所の設置は目下經濟界の不況時代であるから、容易に實現は困難であらうが、將來は必ず實現せねばならぬ問題である

滿洲國中央銀行 近く開業の段取

副總裁に山成喬六氏

（東京支局特電三日發）滿洲國中央銀行の設立については既に二月、三菱より二千萬圓の出資を決定し山成喬六氏は滿洲國の財務に關して

後壁林製糖所 一割の增產

【高雄電話】高雄州後壁林製糖所は一月後八時本期の製糖作業を終へたが總製糖は約四十萬斤で昨年同期に比し一割の增產を示し三日來港（一九旅客）

高雄四月の 砂糖檢定高

【高雄電話】高雄州管內の新式製糖所四月中の砂糖檢定高は二十四萬九千百五十一噸で、最初よりの累計は百五萬七千八百十五噸に上り之を上廻期に於ける過去の如し

	四月中	累計
橋仔頭	二五、四五五	九二、三七五
後壁林	九、三七二	三五、二七一
新興	二、九五一	一〇、九二一

高雄四月中の 芭蕉積出高

【高雄電話】高雄港務課調べ四月中の芭蕉積出高は十萬七千四百八十噸で主なる仕向地は

	噸數	金額
東京三七、二五五	橫濱一五、六五七	門司三、九七二

後壁林製糖所 一割の增產

【高雄電話】高雄州後壁林製糖所は一月後八時本期の製糖作業を終へたが總製糖は約四十萬斤で昨年同期に比し一割の增產を示し三日來港（一九旅客）

高雄四月の 砂糖檢定高

【高雄電話】高雄州管內の新式製糖所四月中の砂糖檢定高は二十四萬九千百五十一噸で、最初よりの累計は百五萬七千八百十五噸に上り之を上廻期に於ける過去の如し

	四月中	累計
橋仔頭	二五、四五五	九二、三七五
後壁林	九、三七二	三五、二七一
新興	二、九五一	一〇、九二一

高雄四月中の 芭蕉積出高

【高雄電話】高雄港務課調べ四月中の芭蕉積出高は十萬七千四百八十噸で主なる仕向地は

	噸數	金額
東京三七、二五五	橫濱一五、六五七	門司三、九七二

後壁林製糖所 一割の增產

【高雄電話】高雄州後壁林製糖所は一月後八時本期の製糖作業を終へたが總製糖は約四十萬斤で昨年同期に比し一割の增產を示し三日來港（一九旅客）

高雄四月の 砂糖檢定高

【高雄電話】高雄州管內の新式製糖所四月中の砂糖檢定高は二十四萬九千百五十一噸で、最初よりの累計は百五萬七千八百十五噸に上り之を上廻期に於ける過去の如し

	四月中	累計
橋仔頭	二五、四五五	九二、三七五
後壁林	九、三七二	三五、二七一
新興	二、九五一	一〇、九二一

高雄四月中の 芭蕉積出高

【高雄電話】高雄港務課調べ四月中の芭蕉積出高は十萬七千四百八十噸で主なる仕向地は

	噸數	金額
東京三七、二五五	橫濱一五、六五七	門司三、九七二

その日その日

前田晃作 橋本邦助畫

（83）

面會（一）

正確にかかつた時計がぼん〳〵と三時を打つた。

可なり廣い大きな部屋だが、椅子、机、白いシクイで塗り上げられた太い、四角なのが一本、がつちりと貫ん中に立つてゐるだけで、室内はどこまでも一目で見通せるやうになつてゐた。事務テーブルを三つ四つくらゐ組み合せた樣にでもして、その周りに、人のかけてゐない安樂椅子もいくつかあつた。

時々、どこか遠くの方からか、きいつと電車の軋る音や、近くの街上を自動車のサイレンなどが、聞えて來たが、こゝは靜かであつた。

中央の机に眼を向けるやうにして、果の窓に近く設けられた一調の扉から、時々、仕掛の合間々々に、低い囁き聲が漏れて來てゐた。

「水島君、一たい、此度の會議の主題は何なんですか、君は聞そんじやないけれども、此次に發表しやうといふ發明物の相談ぢやないかと思ふ。」

「何か、いいプランでもあるんですか？」

「さあ？……飛びつくやうなものもないんでせう。發表物は大抵出きつたし、……それに、なにしろ、この不景氣ぢやアね」

「といつて、かうして靜かにかけてゐる人が、何もしないといふわけにはゆかないし、でせう？」

「ふゝふゝふ……安田君も、いつか化ちやつたね。にふゝ、ふゝ」

名刺を出すと、そこには「新城綾子」とペンで書き込んだ文字のそばに、ローマ字で其名とパリのアドレスとがしるく印刷してあつた

女の子が來て、二人の間に一枚の名刺を置いた。

「この方がね、伸彦さんにお目にかかりたいつていらしつたので すが、伸彦さんは今、會議中で手が放せないから、水島さんでも、安田さんでも、會つて、用事だけ聞いておいて下さいつて。」

一人かニ人に頭を突き出して名刺を讀むと、そこには「新城綾子」とペンで書き込んだ文字のそばに、ローマで其名とパリのアドレスとがしるく印刷してあつた

動脈硬化症 アニマザ
動脈硬化症に特効 アニマザ
血管の彈力性を恢復し心臓及び動脈の異常を正常に導き血壓の彈力性を恢復し心臓及び動脈の異常を正常に導き
特に肥滿型・多血質・飲酒家・喫煙家・頭腦過勞者等初老及び中老者の保健的常用劑として賞用さる。
發賣元 武田長兵衛商店

月刊 鳥の研究

最高の質 トンボ鉛筆

電機學校講義錄
五千圓のひろひ物

アベリー
注射液 錠粉 末劑
專賣特許 強力濃厚ヴイタミンB製劑
ヴイタミンBの研究に於て斯界の權威たる藥學博士衣笠豐氏創製
適應症 各種肺氣の沿痰及衰弱・榮養障碍・食慾不振・便秘・症候惡阻・小兒發育不良・產婦・病中及病後の衰弱等に對し榮養を增進す・動脈硬化症・血壓過高症に對し新陳代謝と旺盛ならしめ病狀を輕快す。
全國著名藥店に販賣・類似品多數ありアベリーと御指定を乞ふ・詳細說明書進呈
日本債券月報社

脚氣と榮養に

慘虐言語に絶する
南支共産軍の暴状
同安の張貞軍は逃亡の最中
石碼は恐怖時代を現出

【廈門二日發電通】石碼は共産軍に占領されて以來恐怖時代を現出し富有階級の妻や娘は逮捕されて公共制服の具に供せられ、肯かぬものは首に針金を通して連がれた上慘殺され、軍費金の徴發に應ぜざる市民は逮捕された後拷問に掛けられる等慘狀を極めてゐる同安に在つた張貞軍は共匪軍討伐の力なきを理由として同地から逐亡しつつあり赤化は愈よ熾烈の形勢である

チチハルの北方で
行商中の邦人襲撃さる
二名慘殺され一名は重傷

【ハルビン二日發聯合】本日チチハル北方一里の地點甘南附近で營業行商中の邦人河村佐野、山田の三名は土匪の襲撃を受け二名は慘殺され一名は重傷を負つた

數千の大刀會匪
我警官隊を包圍
穗西臺子の戰鬪で

【奉天二日發電通】錦州省北鎮縣の北方穗西臺子部落より東方の小高い山上に一團の匪賊が集合しつゝあり同縣警備隊は二日午前八時より突如匪賊を襲撃し一時間に亘る激戰の末匪賊を山上に追ひ上げたが數千の大刀會匪は同山を包圍して猛烈なる反撃を加へつゝあるので第四旅團より一個中隊を急派して應援戰を開始した

柳河の歩兵隊
兵變を起す
邦人は避難準備中

【奉天二日發電通】柳河在方面の匪賊討伐より凱旋歸營の途に就いた柳河守備隊の歩兵第二中隊は二日午前八時頃より突如兵變を起し

東京帝大の
授業料免除
六百餘名の申込者から
二百八名を銓衡

【東京二日發電通】東京帝大經濟學部に於ては學生の家庭の經濟狀態が不況のため著しく困難となつたので學生の授業料免除を行ふことゝなつたが今回の救濟は學部一般とされたものの特別學期のことゝて學生の家庭の支援極めて困難なりとの理由を以て學部教授會に於ては學生の授業料免除の如く決定した

法學部三十一名、文學部三十四名、經濟學部十名、農學部十八名、經濟學部三十一名、醫學部二百名の外醫學部學生八名を加へ二百八名に對し大體に於て授業料免除が行はれることゝなつたのである尚今回の救濟は學部一般とされたものの特別學期のことゝて學生の家庭の支援極めて困難なりとの理由を以て學部教授會に於ては學生の授業料免除の如く決定した

法學部三十一名、文學部三十四名、經濟學部十名、農學部十八名、經濟學部三十一名、醫學部二百名の外醫學部學生八名を加へ二百八名に對し大體に於て授業料免除が行はれることゝなつたのである尚今回の救濟は學部一般とされたものの特別學期のことゝて學生の家庭の支援極めて困難なりとの理由を以て學部教授會に於ては學生の授業料免除の如く決定した

模様で
豪遊客は
コート泥棒
起訴猶豫の身で

本年一月より臨時雇、地方庶務課に勤務して居た小川ノコート專門盜犯あり、南北署協力の下に手配中、昨年暮警視廳に於て逮捕取調べの結果、同人が本年一月より臨時雇、地方庶務課に勤務して居た小川ノコート專門盜犯あり、南北署協力の下に手配中、昨年暮警視廳に於て逮捕取調べの結果、同人が本年一月より臨時雇、地方庶務課に勤務して居た小川ノコート專門盜犯あり、南北署協力の下に手配中、昨年暮警視廳に於て逮捕取調べの結果、同人が

東京市
學務部長から
知事へ昇進の
内務部長著任
五尺八寸の巨軀
福元臺北州

【臺北電話】朝日丸が三日午後零時半入港した、總督府四百三名、所從臺北州內務部長福元岩喜氏が

太刀洗、羽田間の
暗夜歸還飛行成功
所要時間七時間二十分

【羽田三日發電通】三日夜九時三十分太刀洗飛行場を出發した太刀洗羽田間定期飛行機は

途を開き
中澤博士ら
歸臺の人々

中央衛生會委員中澤亮治氏、醫學博士高橋正宗氏、醫學博士小島三氏が日米學會から歸臺した、

森前早大主將の
芽出たいホーム・イン
花嫁は銀座勝川商店の娘

【東京三日發本社特電】六大學リーグ戰シーズンに早稻田の主將森義良さん、野球界の華人安部磯雄氏の媒酌で二日神宮外苑大會會場で芽出度く結婚の式を擧げた花嫁は銀座二丁目銀座勝川商店

産婆試驗
合格者

總督府にては四月十六、十八、二十日の三日間臺北醫院に於て產婆試驗を實施したが其の合格者左の如し

重光公使經過惡く
再診後足を切斷か
關係各方面で憂慮

【上海二日發電通】重光公使の傷は經過惡く再診後足を切斷するやも知れずとの說が傳はり關係各方面では憂慮してゐる

商況
三日

米況

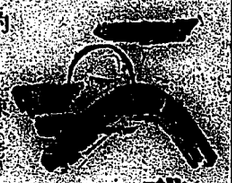
正米市況（前場）

▲蓬萊米 中限 九四不申

▲九條米 九〇一 九〇二 中限 九〇三 九〇四 九〇五 九〇六 九〇七 九〇八 九〇九 九一〇 九一一 九一二 九一三 九一四 九一五 九一六 九一七 九一八 九一九 九二〇 九二一 九二二 九二三 九二四 九二五 九二六 九二七 九二八 九二九 九三〇 九三一 九三二 九三三 九三四 九三五 九三六 九三七 九三八 九三九 九四〇 九四一 九四二 九四三 九四四 九四五 九四六 九四七 九四八 九四九 九五〇 九五一 九五二 九五三 九五四 九五五 九五六 九五七 九五八 九五九 九六〇 九六一 九六二 九六三 九六四 九六五 九六六 九六七 九六八 九六九 九七〇 九七一 九七二 九七三 九七四 九七五 九七六 九七七 九七八 九七九 九八〇 九八一 九八二 九八三 九八四 九八五 九八六 九八七 九八八 九八九 九九〇 九九一 九九二 九九三 九九四 九九五 九九六 九九七 九九八 九九九 一〇〇〇 一〇〇一 一〇〇二 一〇〇三 一〇〇四 一〇〇五 一〇〇六 一〇〇七 一〇〇八 一〇〇九 一〇一〇 一〇一一 一〇一二 一〇一三 一〇一四 一〇一五 一〇一六 一〇一七 一〇一八 一〇一九 一〇二〇 一〇二一 一〇二二 一〇二三 一〇二四 一〇二五 一〇二六 一〇二七 一〇二八 一〇二九 一〇三〇 一〇三一 一〇三二 一〇三三 一〇三四 一〇三五 一〇三六 一〇三七 一〇三八 一〇三九 一〇四〇 一〇四一 一〇四二 一〇四三 一〇四四 一〇四五 一〇四六 一〇四七 一〇四八 一〇四九 一〇五〇 一〇五一 一〇五二 一〇五三 一〇五四 一〇五五 一〇五六 一〇五七 一〇五八 一〇五九 一〇六〇 一〇六一 一〇六二 一〇六三 一〇六四 一〇六五 一〇六六 一〇六七 一〇六八 一〇六九 一〇七〇 一〇七一 一〇七二 一〇七三 一〇七四 一〇七五 一〇七六 一〇七七 一〇七八 一〇七九 一〇八〇 一〇八一 一〇八二 一〇八三 一〇八四 一〇八五 一〇八六 一〇八七 一〇八八 一〇八九 一〇九〇 一〇九一 一〇九二 一〇九三 一〇九四 一〇九五 一〇九六 一〇九七 一〇九八 一〇九九 一一〇〇 一一〇一 一一〇二 一一〇三 一一〇四 一一〇五 一一〇六 一一〇七 一一〇八 一一〇九 一一一〇 一一一一 一一一二 一一一三 一一一四 一一一五 一一一六 一一一七 一一一八 一一一九 一一二〇 一一二一 一一二二 一一二三 一一二四 一一二五 一一二六 一一二七 一一二八 一一二九 一一三〇 一一三一 一一三二 一一三三 一一三四 一一三五 一一三六 一一三七 一一三八 一一三九 一一四〇 一一四一 一一四二 一一四三 一一四四 一一四五 一一四六 一一四七 一一四八 一一四九 一一五〇 一一五一 一一五二 一一五三 一一五四 一一五五 一一五六 一一五七 一一五八 一一五九 一一六〇 一一六一 一一六二 一一六三 一一六四 一一六五 一一六六 一一六七 一一六八 一一六九 一一七〇 一一七一 一一七二 一一七三 一一七四 一一七五 一一七六 一一七七 一一七八 一一七九 一一八〇 一一八一 一一八二 一一八三 一一八四 一一八五 一一八六 一一八七 一一八八 一一八九 一一九〇 一一九一 一一九二 一一九三 一一九四 一一九五 一一九六 一一九七 一一九八 一一九九 一二〇〇 一二〇一 一二〇二 一二〇三 一二〇四 一二〇五 一二〇六 一二〇七 一二〇八 一二〇九 一二一〇 一二一一 一二一二 一二一三 一二一四 一二一五 一二一六 一二一七 一二一八 一二一九 一二二〇 一二二一 一二二二 一二二三 一二二四 一二二五 一二二六 一二二七 一二二八 一二二九 一二三〇 一二三一 一二三二 一二三三 一二三四 一二三五 一二三六 一二三七 一二三八 一二三九 一二四〇 一二四一 一二四二 一二四三 一二四四 一二四五 一二四六 一二四七 一二四八 一二四九 一二五〇 一二五一 一二五二 一二五三 一二五四 一二五五 一二五六 一二五七 一二五八 一二五九 一二六〇 一二六一 一二六二 一二六三 一二六四 一二六五 一二六六 一二六七 一二六八 一二六九 一二七〇 一二七一 一二七二 一二七三 一二七四 一二七五 一二七六 一二七七 一二七八 一二七九 一二八〇 一二八一 一二八二 一二八三 一二八四 一二八五 一二八六 一二八七 一二八八 一二八九 一二九〇 一二九一 一二九二 一二九三 一二九四 一二九五 一二九六 一二九七 一二九八 一二九九 一三〇〇 一三〇一 一三〇二 一三〇三 一三〇四 一三〇五 一三〇六 一三〇七 一三〇八 一三〇九 一三一〇 一三一一 一三一二 一三一三 一三一四 一三一五 一三一六 一三一七 一三一八 一三一九 一三二〇 一三二一 一三二二 一三二三 一三二四 一三二五 一三二六 一三二七 一三二八 一三二九 一三三〇 一三三一 一三三二 一三三三 一三三四 一三三五 一三三六 一三三七 一三三八 一三三九 一三四〇 一三四一 一三四二 一三四三 一三四四 一三四五 一三四六 一三四七 一三四八 一三四九 一三五〇 一三五一 一三五二 一三五三 一三五四 一三五五 一三五六 一三五七 一三五八 一三五九 一三六〇 一三六一 一三六二 一三六三 一三六四 一三六五 一三六六 一三六七 一三六八 一三六九 一三七〇 一三七一 一三七二 一三七三 一三七四 一三七五 一三七六 一三七七 一三七八 一三七九 一三八〇 一三八一 一三八二 一三八三 一三八四 一三八五 一三八六 一三八七 一三八八 一三八九 一三九〇 一三九一 一三九二 一三九三 一三九四 一三九五 一三九六 一三九七 一三九八 一三九九 一四〇〇 一四〇一 一四〇二 一四〇三 一四〇四 一四〇五 一四〇六 一四〇七 一四〇八 一四〇九 一四一〇 一四一一 一四一二 一四一三 一四一四 一四一五 一四一六 一四一七 一四一八 一四一九 一四二〇 一四二一 一四二二 一四二三 一四二四 一四二五 一四二六 一四二七 一四二八 一四二九 一四三〇 一四三一 一四三二 一四三三 一四三四 一四三五 一四三六 一四三七 一四三八 一四三九 一四四〇 一四四一 一四四二 一四四三 一四四四 一四四五 一四四六 一四四七 一四四八 一四四九 一四五〇 一四五一 一四五二 一四五三 一四五四 一四五五 一四五六 一四五七 一四五八 一四五九 一四六〇 一四六一 一四六二 一四六三 一四六四 一四六五 一四六六 一四六七 一四六八 一四六九 一四七〇 一四七一 一四七二 一四七三 一四七四 一四七五 一四七六 一四七七 一四七八 一四七九 一四八〇 一四八一 一四八二 一四八三 一四八四 一四八五 一四八六 一四八七 一四八八 一四八九 一四九〇 一四九一 一四九二 一四九三 一四九四 一四九五 一四九六 一四九七 一四九八 一四九九 一五〇〇 一五〇一 一五〇二 一五〇三 一五〇四 一五〇五 一五〇六 一五〇七 一五〇八 一五〇九 一五一〇 一五一一 一五一二 一五一三 一五一四 一五一五 一五一六 一五一七 一五一八 一五一九 一五二〇 一五二一 一五二二 一五二三 一五二四 一五二五 一五二六 一五二七 一五二八 一五二九 一五三〇 一五三一 一五三二 一五三三 一五三四 一五三五 一五三六 一五三七 一五三八 一五三九 一五四〇 一五四一 一五四二 一五四三 一五四四 一五四五 一五四六 一五四七 一五四八 一五四九 一五五〇 一五五一 一五五二 一五五三 一五五四 一五五五 一五五六 一五五七 一五五八 一五五九 一五六〇 一五六一 一五六二 一五六三 一五六四 一五六五 一五六六 一五六七 一五六八 一五六九 一五七〇 一五七一 一五七二 一五七三 一五七四 一五七五 一五七六 一五七七 一五七八 一五七九 一五八〇 一五八一 一五八二 一五八三 一五八四 一五八五 一五八六 一五八七 一五八八 一五八九 一五九〇 一五九一 一五九二 一五九三 一五九四 一五九五 一五九六 一五九七 一五九八 一五九九 一六〇〇 一六〇一 一六〇二 一六〇三 一六〇四 一六〇五 一六〇六 一六〇七 一六〇八 一六〇九 一六一〇 一六一一 一六一二 一六一三 一六一四 一六一五 一六一六 一六一七 一六一八 一六一九 一六二〇 一六二一 一六二二 一六二三 一六二四 一六二五 一六二六 一六二七 一六二八 一六二九 一六三〇 一六三一 一六三二 一六三三 一六三四 一六三五 一六三六 一六三七 一六三八 一六三九 一六四〇 一六四一 一六四二 一六四三 一六四四 一六四五 一六四六 一六四七 一六四八 一六四九 一六五〇 一六五一 一六五二 一六五三 一六五四 一六五五 一六五六 一六五七 一六五八 一六五九 一六六〇 一六六一 一六六二 一六六三 一六六四 一六六五 一六六六 一六六七 一六六八 一六六九 一六七〇 一六七一 一六七二 一六七三 一六七四 一六七五 一六七六 一六七七 一六七八 一六七九 一六八〇 一六八一 一六八二 一六八三 一六八四 一六八五 一六八六 一六八七 一六八八 一六八九 一六九〇 一六九一 一六九二 一六九三 一六九四 一六九五 一六九六 一六九七 一六九八 一六九九 一七〇〇 一七〇一 一七〇二 一七〇三 一七〇四 一七〇五 一七〇六 一七〇七 一七〇八 一七〇九 一七一〇 一七一一 一七一二 一七一三 一七一四 一七一五 一七一六 一七一七 一七一八 一七一九 一七二〇 一七二一 一七二二 一七二三 一七二四 一七二五 一七二六 一七二七 一七二八 一七二九 一七三〇 一七三一 一七三二 一七三三 一七三四 一七三五 一七三六 一七三七 一七三八 一七三九 一七四〇 一七四一 一七四二 一七四三 一七四四 一七四五 一七四六 一七四七 一七四八 一七四九 一七五〇 一七五一 一七五二 一七五三 一七五四 一七五五 一七五六 一七五七 一七五八 一七五九 一七六〇 一七六一 一七六二 一七六三 一七六四 一七六五 一七六六 一七六七 一七六八 一七六九 一七七〇 一七七一 一七七二 一七七三 一七七四 一七七五 一七七六 一七七七 一七七八 一七七九 一七八〇 一七八一 一七八二 一七八三 一七八四 一七八五 一七八六 一七八七 一七八八 一七八九 一七九〇 一七九一 一七九二 一七九三 一七九四 一七九五 一七九六 一七九七 一七九八 一七九九 一八〇〇 一八〇一 一八〇二 一八〇三 一八〇四 一八〇五 一八〇六 一八〇七 一八〇八 一八〇九 一八一〇 一八一一 一八一二 一八一三 一八一四 一八一五 一八一六 一八一七 一八一八 一八一九 一八二〇 一八二一 一八二二 一八二三 一八二四 一八二五 一八二六 一八二七 一八二八 一八二九 一八三〇 一八三一 一八三二 一八三三 一八三四 一八三五 一八三六 一八三七 一八三八 一八三九 一八四〇 一八四一 一八四二 一八四三 一八四四 一八四五 一八四六 一八四七 一八四八 一八四九 一八五〇 一八五一 一八五二 一八五三 一八五四 一八五五 一八五六 一八五七 一八五八 一八五九 一八六〇 一八六一 一八六二 一八六三 一八六四 一八六五 一八六六 一八六七 一八六八 一八六九 一八七〇 一八七一 一八七二 一八七三 一八七四 一八七五 一八七六 一八七七 一八七八 一八七九 一八八〇 一八八一 一八八二 一八八三 一八八四 一八八五 一八八六 一八八七 一八八八 一八八九 一八九〇 一八九一 一八九二 一八九三 一八九四 一八九五 一八九六 一八九七 一八九八 一八九九 一九〇〇 一九〇一 一九〇二 一九〇三 一九〇四 一九〇五 一九〇六 一九〇七 一九〇八 一九〇九 一九一〇 一九一一 一九一二 一九一三 一九一四 一九一五 一九一六 一九一七 一九一八 一九一九 一九二〇 一九二一 一九二二 一九二三 一九二四 一九二五 一九二六 一九二七 一九二八 一九二九 一九三〇 一九三一 一九三二 一九三三 一九三四 一九三五 一九三六 一九三七 一九三八 一九三九 一九四〇 一九四一 一九四二 一九四三 一九四四 一九四五 一九四六 一九四七 一九四八 一九四九 一九五〇 一九五一 一九五二 一九五三 一九五四 一九五五 一九五六 一九五七 一九五八 一九五九 一九六〇 一九六一 一九六二 一九六三 一九六四 一九六五 一九六六 一九六七 一九六八 一九六九 一九七〇 一九七一 一九七二 一九七三 一九七四 一九七五 一九七六 一九七七 一九七八 一九七九 一九八〇 一九八一 一九八二 一九八三 一九八四 一九八五 一九八六 一九八七 一九八八 一九八九 一九九〇 一九九一 一九九二 一九九三 一九九四 一九九五 一九九六 一九九七 一九九八 一九九九 二〇〇〇 二〇〇一 二〇〇二 二〇〇三 二〇〇四 二〇〇五 二〇〇六 二〇〇七 二〇〇八 二〇〇九 二〇一〇 二〇一一 二〇一二 二〇一三 二〇一四 二〇一五 二〇一六 二〇一七 二〇一八 二〇一九 二〇二〇 二〇二一 二〇二二 二〇二三 二〇二四 二〇二五 二〇二六 二〇二七 二〇二八 二〇二九 二〇三〇 二〇三一 二〇三二 二〇三三 二〇三四 二〇三五 二〇三六 二〇三七 二〇三八 二〇三九 二〇四〇 二〇四一 二〇四二 二〇四三 二〇四四 二〇四五 二〇四六 二〇四七 二〇四八 二〇四九 二〇五〇 二〇五一 二〇五二 二〇五三 二〇五四 二〇五五 二〇五六 二〇五七 二〇五八 二〇五九 二〇六〇 二〇六一 二〇六二 二〇六三 二〇六四 二〇六五 二〇六六 二〇六七 二〇六八 二〇六九 二〇七〇 二〇七一 二〇七二 二〇七三 二〇七四 二〇七五 二〇七六 二〇七七 二〇七八 二〇七九 二〇八〇 二〇八一 二〇八二 二〇八三 二〇八四 二〇八五 二〇八六 二〇八七 二〇八八 二〇八九 二〇九〇 二〇九一 二〇九二 二〇九三 二〇九四 二〇九五 二〇九六 二〇九七 二〇九八 二〇九九 二一〇〇 二一〇一 二一〇二 二一〇三 二一〇四 二一〇五 二一〇六 二一〇七 二一〇八 二一〇九 二一一〇 二一一一 二一一二 二一一三 二一一四 二一一五 二一一六 二一一七 二一一八 二一一九 二一二〇 二一二一 二一二二 二一二三 二一二四 二一二五 二一二六 二一二七 二一二八 二一二九 二一三〇 二一三一 二一三二 二一三三 二一三四 二一三五 二一三六 二一三七 二一三八 二一三九 二一四〇 二一四一 二一四二 二一四三 二一四四 二一四五 二一四六 二一四七 二一四八 二一四九 二一五〇 二一五一 二一五二 二一五三 二一五四 二一五五 二一五六 二一五七 二一五八 二一五九 二一六〇 二一六一 二一六二 二一六三 二一六四 二一六五 二一六六 二一六七 二一六八 二一六九 二一七〇 二一七一 二一七二 二一七三 二一七四 二一七五 二一七六 二一七七 二一七八 二一七九 二一八〇 二一八一 二一八二 二一八三 二一八四 二一八五 二一八六 二一八七 二一八八 二一八九 二一九〇 二一九一 二一九二 二一九三 二一九四 二一九五 二一九六 二一九七 二一九八 二一九九 二二〇〇 二二〇一 二二〇二 二二〇三 二二〇四 二二〇五 二二〇六 二二〇七 二二〇八 二二〇九 二二一〇 二二一一 二二一二 二二一三 二二一四 二二一五 二二一六 二二一七 二二一八 二二一九 二二二〇 二二二一 二二二二 二二二三 二二二四 二二二五 二二二六 二二二七 二二二八 二二二九 二二三〇 二二三一 二二三二 二二三三 二二三四 二二三五 二二三六 二二三七 二二三八 二二三九 二二四〇 二二四一 二二四二 二二四三 二二四四 二二四五 二二四六 二二四七 二二四八 二二四九 二二五〇 二二五一 二二五二 二二五三 二二五四 二二五五 二二五六 二二五七 二二五八 二二五九 二二六〇 二二六一 二二六二 二二六三 二二六四 二二六五 二二六六 二二六七 二二六八 二二六九 二二七〇 二二七一 二二七二 二二七三 二二七四 二二七五 二二七六 二二七七 二二七八 二二七九 二二八〇 二二八一 二二八二 二二八三 二二八四 二二八五 二二八六 二二八七 二二八八 二二八九 二二九〇 二二九一 二二九二 二二九三 二二九四 二二九五 二二九六 二二九七 二二九八 二二九九 二三〇〇 二三〇一 二三〇二 二三〇三 二三〇四 二三〇五 二三〇六 二三〇七 二三〇八 二三〇九 二三一〇 二三一一 二三一二 二三一三 二三一四 二三一五 二三一六 二三一七 二三一八 二三一九 二三二〇 二三二一 二三二二 二三二三 二三二四 二三二五 二三二六 二三二七 二三二八 二三二九 二三三〇 二三三一 二三三二 二三三三 二三三四 二三三五 二三三六 二三三七 二三三八 二三三九 二三四〇 二三四一 二三四二 二三四三 二三四四 二三四五 二三四六 二三四七 二三四八 二三四九 二三五〇 二三五一 二三五二 二三五三 二三五四 二三五五 二三五六 二三五七 二三五八 二三五九 二三六〇 二三六一 二三六二 二三六三 二三六四 二三六五 二三六六 二三六七 二三六八 二三六九 二三七〇 二三七一 二三七二 二三七三 二三七四 二三七五 二三七六 二三七七 二三七八 二三七九 二三八〇 二三八一 二三八二 二三八三 二三八四 二三八五 二三八六 二三八七 二三八八 二三八九 二三九〇 二三九一 二三九二 二三九三 二三九四 二三九五 二三九六 二三九七 二三九八 二三九九 二四〇〇 二四〇一 二四〇二 二四〇三 二四〇四 二四〇五 二四〇六 二四〇七 二四〇八 二四〇九 二四一〇 二四一一 二四一二 二四一三 二四一四 二四一五 二四一六 二四一七 二四一八 二四一九 二四二〇 二四二一 二四二二 二四二三 二四二四 二四二五 二四二六 二四二七 二四二八 二四二九 二四三〇 二四三一 二四三二 二四三三 二四三四 二四三五 二四三六 二四三七 二四三八 二四三九 二四四〇 二四四一 二四四二 二四四三 二四四四 二四四五 二四四六 二四四七 二四四八 二四四九 二四五〇 二四五一 二四五二 二四五三 二四五四 二四五五 二四五六 二四五七 二四五八 二四五九 二四六〇 二四六一 二四六二 二四六三 二四六四 二四六五 二四六六 二四六七 二四六八 二四六九 二四七〇 二四七一 二四七二 二四七三 二四七四 二四七五 二四七六 二四七七 二四七八 二四七九 二四八〇 二四八一 二四八二 二四八三 二四八四 二四八五 二四八六 二四八七 二四八八 二四八九 二四九〇 二四九一 二四九二 二四九三 二四九四 二四九五 二四九六 二四九七 二四九八 二四九九 二五〇〇 二五〇一 二五〇二 二五〇三 二五〇四 二五〇五 二五〇六 二五〇七 二五〇八 二五〇九 二五一〇 二五一一 二五一二 二五一三 二五一四 二五一五 二五一六 二五一七 二五一八 二五一九 二五二〇 二五二一 二五二二 二五二三 二五二四 二五二五 二五二六 二五二七 二五二八 二五二九 二五三〇 二五三一 二五三二 二五三三 二五三四 二五三五 二五三六 二五三七 二五三八 二五三九 二五四〇 二五四一 二五四二 二五四三 二五四四 二五四五 二五四六 二五四七 二五四八 二五四九 二五五〇 二五五一 二五五二 二五五三 二五五四 二五五五 二五五六 二五五七 二五五八 二五五九 二五六〇 二五六一 二五六二 二五六三 二五六四 二五六五 二五六六 二五六七 二五六八 二五六九 二五七〇 二五七一 二五七二 二五七三 二五七四 二五七五 二五七六 二五七七 二五七八 二五七九 二五八〇 二五八一 二五八二 二五八三 二五八四 二五八五 二五八六 二五八七 二五八八 二五八九 二五九〇 二五九一 二五九二 二五九三 二五九四 二五九五 二五九六 二五九七 二五九八 二五九九 二六〇〇 二六〇一 二六〇二 二六〇三 二六〇四 二六〇五 二六〇六 二六〇七 二六〇八 二六〇九 二六一〇 二六一一 二六一二 二六一三 二六一四 二六一五 二六一六 二六一七 二六一八 二六一九 二六二〇 二六二一 二六二二 二六二三 二六二四 二六二五 二六二六 二六二七 二六二八 二六二九 二六三〇 二六三一 二六三二 二六三三 二六三四 二六三五 二六三六 二六三七 二六三八 二六三九 二六四〇 二六四一 二六四二 二六四三 二六四四 二六四五 二六四六 二六四七 二六四八 二六四九 二六五〇 二六五一 二六五二 二六五三 二六五四 二六五五 二六五六 二六五七 二六五八 二六五九 二六六〇 二六六一 二六六二 二六六三 二六六四 二六六五 二六六六 二六六七 二六六八 二六六九 二六七〇 二六七一 二六七二 二六七三 二六七四 二六七五 二六七六 二六七七 二六七八 二六七九 二六八〇 二六八一 二六八二 二六八三 二六八四 二六八五 二六八六 二六八七 二六八八 二六八九 二六九〇 二六九一 二六九二 二六九三 二六九四 二六九五 二六九六 二六九七 二六九八 二六九九 二七〇〇 二七〇一 二七〇二 二七〇三 二七〇四 二七〇五 二七〇六 二七〇七 二七〇八 二七〇九 二七一〇 二七一一 二七一二 二七一三 二七一四 二七一五 二七一六 二七一七 二七一八 二七一九 二七二〇 二七二一 二七二二 二七二三 二七二四 二七二五 二七二六 二七二七 二七二八 二七二九 二七三〇 二七三一 二七三二 二七三三 二七三四 二七三五 二七三六 二七三七 二七三八 二七三九 二七四〇 二七四一 二七四二 二七四三 二七四四 二七四五 二七四六 二七四七 二七四八 二七四九 二七五〇 二七五一 二七五二 二七五三 二七五四 二七五五 二七五六 二七五七 二七五八 二七五九 二七六〇 二七六一 二七六二 二七六三 二七六四 二七六五 二七六六 二七六七 二七六八 二七六九 二七七〇 二七七一 二七七二 二七七三 二七七四 二七七五 二七七六 二七七七 二七七八 二七七九 二七八〇 二七八一 二七八二 二七八三 二七八四 二七八五 二七八六 二七八七 二七八八 二七八九 二七九〇 二七九一 二七九二 二七九三 二七九四 二七九五 二七九六 二七九七 二七九八 二七九九 二八〇〇 二八〇一 二八〇二 二八〇三 二八〇四 二八〇五 二八〇六 二八〇七 二八〇八 二八〇九 二八一〇 二八一一 二八一二 二八一三 二八一四 二八一五 二八一六 二八一七 二八一八 二八一九 二八二〇 二八二一 二八二二 二八二三 二八二四 二八二五 二八二六 二八二七 二八二八 二八二九 二八三〇 二八三一 二八三二 二八三三 二八三四 二八三五 二八三六 二八三七 二八三八 二八三九 二八四〇 二八四一 二八四二 二八四三 二八四四 二八四五 二八四六 二八四七 二八四八 二八四九 二八五〇 二八五一 二八五二 二八五三 二八五四 二八五五 二八五六 二八五七 二八五八 二八五九 二八六〇 二八六一 二八六二 二八六三 二八六四 二八六五 二八六六 二八六七 二八六八 二八六九 二八七〇 二八七一 二八七二 二八七三 二八七四 二八七五 二八七六 二八七七 二八七八 二八七九 二八八〇 二八八一 二八八二 二八八三 二八八四 二八八五 二八八六 二八八七 二八八八 二八八九 二八九〇 二八九一 二八九二 二八九三 二八九四 二八九五 二八九六 二八九七 二八九八 二八九九 二九〇〇 二九〇一 二九〇二 二九〇三 二九〇四 二九〇五 二九〇六 二九〇七 二九〇八 二九〇九 二九一〇 二九一一 二九一二 二九一三 二九一四 二九一五 二九一六 二九一七 二九一八 二九一九 二九二〇 二九二一 二九二二 二九二三 二九二四 二九二五 二九二六 二九二七 二九二八 二九二九 二九三〇 二九三一 二九三二 二九三三 二九三四 二九三五 二九三六 二九三七 二九三八 二九三九 二九四〇 二九四一 二九四二 二九四三 二九四四 二九四五 二九四六 二九四七 二九四八 二九四九 二九五〇 二九五一 二九五二 二九五三 二九五四 二九五五 二九五六 二九五七 二九五八 二九五九 二九六〇 二九六一 二九六二 二九六三 二九六四 二九六五 二九六六 二九六七 二九六八 二九六九 二九七〇 二九七一 二九七二 二九七三 二九七四 二九七五 二九七六 二九七七 二九七八 二九七九 二九八〇 二九八一 二九八二 二九八三 二九八四 二九八五 二九八六 二九八七 二九八八 二九八九 二九九〇 二九九一 二九九二 二九九三 二九九四 二九九五 二九九六 二九九七 二九九八 二九九九 三〇〇〇 三〇〇一 三〇〇二 三〇〇三 三〇〇四 三〇〇五 三〇〇六 三〇〇七 三〇〇八 三〇〇九 三〇一〇 三〇一一 三〇一二 三〇一三 三〇一四 三〇一五 三〇一六 三〇一七 三〇一八 三〇一九 三〇二〇 三〇二一 三〇二二 三〇二三 三〇二四 三〇二五 三〇二六 三〇二七 三〇二八 三〇二九 三〇三〇 三〇三一 三〇三二 三〇三三 三〇三四 三〇三五 三〇三六 三〇三七 三〇三八 三〇三九 三〇四〇 三〇四一 三〇四二 三〇四三 三〇四四 三〇四五 三〇四六 三〇四七 三〇四八 三〇四九 三〇五〇 三〇五一 三〇五二 三〇五三 三〇五四 三〇五五 三〇五六 三〇五七 三〇五八 三〇五九 三〇六〇 三〇六一 三〇六二 三〇六三 三〇六四 三〇六五 三〇六六 三〇六七 三〇六八 三〇六九 三〇七〇 三〇七一 三〇七二 三〇七三 三〇七四 三〇七五 三〇七六 三〇七七 三〇七八 三〇七九 三〇八〇 三〇八一 三〇八二 三〇八三 三〇八四 三〇八五 三〇八六 三〇八七 三〇八八 三〇八九 三〇九〇 三〇九一 三〇九二 三〇九三 三〇九四 三〇九五 三〇九六 三〇九七 三〇九八 三〇九九 三一〇〇 三一〇一 三一〇二 三一〇三 三一〇四 三一〇五 三一〇六 三一〇七 三一〇八 三一〇九 三一一〇 三一一一 三一一二 三一一三 三一一四 三一一五 三一一六 三一一七 三一一八 三一一九 三一二〇 三一二一 三一二二 三一二三 三一二四 三一二五 三一二六 三一二七 三一二八 三一二九 三一三〇 三一三一 三一三二 三一三三 三一三四 三一三五 三一三六 三一三七 三一三八 三一三九 三一四〇 三一四一 三一四二 三一四三 三一四四 三一四五 三一四六 三一四七 三一四八 三一四九 三一五〇 三一五一 三一五二 三一五三 三一五四 三一五五 三一五六 三一五七 三一五八 三一五九 三一六〇 三一六一 三一六二 三一六三 三一六四 三一六五 三一六六 三一六七 三一六八 三一六九 三一七〇 三一七一 三一七二 三一七三 三一七四 三一七五 三一七六 三一七七 三一七八 三一七九 三一八〇 三一八一 三一八二 三一八三 三一八四 三一八五 三一八六 三一八七 三一八八 三一八九 三一九〇 三一九一 三一九二 三一九三 三一九四 三一九五 三一九六 三一九七 三一九八 三一九九 三二〇〇 三二〇一 三二〇二 三二〇三 三二〇四 三二〇五 三二〇六 三二〇七 三二〇八 三二〇九 三二一〇 三二一一 三二一二 三二一三 三二一四 三二一五 三二一六 三二一七 三二一八 三二一九 三二二〇 三二二一 三二二二 三二二三 三二二四 三二二五 三二二六 三二二七 三二二八 三二二九 三二三〇 三二三一 三二三二 三二三三 三二三四 三二三五 三二三六 三二三七 三二三八 三二三九 三二四〇 三二四一 三二四二 三二四三 三二四四 三二四五 三二四六 三二四七 三二四八 三二四九 三二五〇 三二五一 三二五二 三二五三 三二五四 三二五五 三二五六 三二五七 三二五八 三二五九 三二六〇 三二六一 三二六二 三二六三 三二六四 三二六五 三二六六 三二六七 三二六八 三二六九 三二七〇 三二七一 三二七二 三二七三 三二七四 三二七五 三二七六 三二七七 三二七八 三二七九 三二八〇 三二八一 三二八二 三二八三 三二八四 三二八五 三二八六 三二八七 三二八八 三二八九 三二九〇 三二九一 三二九二 三二九三 三二九四 三二九五 三二九六 三二九七 三二九八 三二九九 三三〇〇 三三〇一 三三〇二 三三〇三 三三〇四 三三〇五 三三〇六 三三〇七 三三〇八 三三〇九 三三一〇 三三一一 三三一二 三三一三 三三一四 三三一五 三三一六 三三一七 三三一八 三三一九 三三二〇 三三二一 三三二二 三三二三 三三二四 三三二五 三三二六 三三二七 三三二八 三三二九 三三三〇 三三三一 三三三二 三三三三 三三三四 三三三五 三三三六 三三三七 三三三八 三三三九 三三四〇 三三四一 三三四二 三三四三 三三四四 三三四五 三三四六 三三四七 三三四八 三三四九 三三五〇 三三五一 三三五二 三三五三 三三五四 三三五五 三三五六 三三五七 三三五八 三三五九 三三六〇 三三六一 三三六二 三三六三 三三六四 三三六五 三三六六 三三六七 三三六八 三三六九 三三七〇 三三七一 三三七二 三三七三 三三七四 三三七五 三三七六 三三七七 三三七八 三三七九 三三八〇 三三八一 三三八二 三三八三 三三八四 三三八五 三三八六 三三八七 三三八八 三三八九 三三九〇 三三九一 三三九二 三三九三 三三九四 三三九五 三三九六 三三九七 三三九八 三三九九 三四〇〇 三四〇一 三四〇二 三四〇三 三四〇四 三四〇五 三四〇六 三四〇七 三四〇八 三四〇九 三四一〇 三四一一 三四一二 三四一三 三四一四 三四一五 三四一六 三四一七 三四一八 三四一九 三四二〇 三四二一 三四二二 三四二三 三四二四 三四二五 三四二六 三四二七 三四二八 三四二九 三四三〇 三四三一 三四三二 三四三三 三四三四 三四三五 三四三六 三四三七 三四三八 三四三九 三四四〇 三四四一 三四四二 三四四三 三四四四 三四四五 三四四六 三四四七 三四四八 三四四九 三四五〇 三四五一 三四五二 三四五三 三四五四 三四五五 三四五六 三四五七 三四五八 三四五九 三四六〇 三四六一 三四六二 三四六三 三四六四 三四六五 三四六六 三四六七 三四六八 三四六九 三四七〇 三四七一 三四七二 三四七三 三四七四 三四七五 三四七六 三四七七 三四七八 三四七九 三四八〇 三四八一 三四八二 三四八三 三四八四 三四八五 三四八六 三四八七 三四八八 三四八九 三四九〇 三四九一 三四九二 三四九三 三四九四 三四九五 三四九六 三四九七 三四九八 三四九九 三五〇〇 三五〇一 三五〇二 三五〇三 三五〇四 三五〇五 三五〇六 三五〇七 三五〇八 三五〇九 三五一〇 三五一一 三五一二 三五一三 三五一四 三五一

殘月譜 (170)

志乃田廻司作　清水三重三畫



つきりと呑み込めたのであつた。

「それでは」

と醫三、手を出した。

「お上人、お祝れをつ頂戴致します」

「おお、おお」

一個を切つて取出された五郎八茶碗を押し戴いて。

「お上人さま、それにつけて、私の方からも一つお祝ひが御座います」

「何ちや、みんな祭ろ、と云ふのぢやないぞ」

「いえ、けつけは、金のことでは御座いません、此處に居ります、新藏との御師と、そして私と」

「うむ」

「それから我孫子に留守させてあります女房代、はい、此の三人を、お上人さま、下男下女代りに死ぬ迄傍つて居ります」

「おゝ、おゝ、こんな結構な御供でよかつたら、いつまでも」

「お上人」

「うむ」

「醫師どのから聞かつたか、それを貴方に移り始めた我孫子大藏の金、へいすつかり物上の御重荷の爲に、彼つて斃きます」

「うむ、よく申した、今一つやるぞ」

熱燗は忽ち老に、醫三に五郎八に、ゆつと差し出した。

つぎに時の元氣が、又もや財産に限つて來たやうな氣がした。

「おお、醫師様方で留守番して居る我孫子の藏へ、日數にして四、五日の間、此の山寺の庵へ、醫三に一切心もついて來た事でやら、わしが泊入つておいてるさま、それから。

「お上人さま、それにしても、醫師は安心の證ひがあるときいつとなつて、醫師は安心の證を正した。

「お上人さま、お聞さし、我孫子の財産が、不思ちやと云つたなら」

「それだ、それな、何にも云はずに、私のわしに任せてくれ」

「極上の御安心にして下さいますので」

「おおー」

力強い、莊嚴の響きだ。

「お聞さん、御何しまそう？」

「何をお訊ねなされます、旦那さまの財産を、北の國が、どうして御出でなさいませうと」

「さき醫師どのの代理としてもー」

「御安心には及びませぬ」

おたきやす、醫師の貴方が、は

演劇で見聞する いろいろの病氣診察

醫學博士　樫田十次郎

われ〳〵が觀劇ち△芝居を▽見てよく觀が醒したり、いざりが立つたりすることを不思議からるることがあり、こんな例はいくらもある、吃の女平の心が德つたり、白癩の患者が癒ゆに至つたり、何れも醫學上から見て不可能とされて居る事實である。

△サワリ▽の文句

「三ツ違ひの兄さんと言うて暮らして居る中に、關なさこなさんは生れもつかぬ他人の上に」

と云ふ。

△サワリ▽の文句

がある、實際醫學上眼が醒れることからから考へつけることである、澤市自分の眼は明くまいと思ひ乍ら眼の中に水晶體と云ふものがあり、それが白く濁つてしまふことがある、それを白内障、俗に白そこひと言ふが、その患者が高い所からとび下りて目のくり玉がとび出るほどの驚きを與へたに過ぎない。

△澤市は▽

數千丈の高所からとび下りたとあるが實はそんなに高くはなかつたのであらう、併し眼の病者から云ふと澤市の眼は白内障として相當の程度に進んで居たものであるから、それ程の高さからとび下りたとしても、白内障の者は、眼底に變化がないから、百に一つは無事に着地することもあり得るのである、醫師角藏に案がかゝるのも澤市さんの眼は確の觀察眼が生じて觀つてるたと考へる、さうしてこゝに於ても、ヒステリー性の女にあつたのでどう說明したらよいか、眼の中に水晶體と云ふものがあり、それが白く濁つてしまふことがあると、それを白内障、俗に白そこひと言ふが、その患者が高い所からとび下りて目のくり玉がとび出るほどの驚きを與へたに過ぎない。

△鐘の音▽

ーコレは何ざまさと云ふ眼が見えぬはいソウヤアー、それはマアいつからハイさればで、ござりまするが、一月餘りフト鳥目が起りまして、それから、

△浪曲巨頭聯盟返り興行

全國浪人會を擔て聯盟する眼になつた浪界の人氣者、鰯川雷藏吉、二代目梁小圓丸、武藏野梁雲、雷川雷貨、音源子雲の一座は過般常盤山の芝居の興行との、希望が多いので三月より四月間桑座に出演する筈となつた、今回は入場料を安くなし五十錢均一にする

公開欄

ファッショ思想について

白坂義直

◇本誌前號以來、我國に一種の流行語となりつつあるファッショも結局國家第一主義的思想への傾向と見らるべきものだらう、即ちファッショの語源は、一九二一年末葉ムッソリーニが、自己指導の黑シャツ社會黨革命を率ゐて羅馬入城、後小黨の分裂解散せる伊太利行政權を掌握して、ファシスト一黨政治を創生し、以て伊太利國體を改つたに初まる

◇此の政體は、世界各國政治運動の中最も不可▲行數は十五字六十行以内▲住所氏名は必ず記入の事▲匿名は採用致しかねます

◇即ち彼等は、それ等の弊を除去し、以て日本の國體に基く國家的革新を斷行し、國運の發展を圖らんとするにあるのである、ファッショの語義は束ねるの意であつて、轉じて團結して東になつて、強國に當るの意にも解せられる、ファッショ化して行くべきは無論のことである、ファッショ化は、世界大戰の國家的經驗から來たものであつて、强國に當るには、國家總動員の必要を痛感し、國民一體となつて、强者を挫き弱者を助けるの精神を以て、國家の發展を圖るにあるのである、ファッショ化は、單に軍事的方面のみならず、經濟的方面にも、教育的方面にも、思想的方面にも

漢文臺灣日日新報

停戰會議軍事小委員會
解決蘇州河浦東問題
既完委託任務決定解散

二日上海電。停戰會議軍事小委員會。二日午後六時開會。八時半散會。蘇州河並浦東問題解決。日華双方作書面表示。內容如下。軍事小委員會。一日午後六時開會。本會委託任務。全部終了。且擬報告本會議。委員會。決定以此解散。

小委員會解決要點
本會議本日開議

二日上海電。停戰會議本會議。因二日小委員會結果。擬自二日午前十時。決定開會。小委員會。決定蘇州河。浦東問題。浦東不駐兵隊。蘇州河以南。雖有兵隊。除。因中國約停戰期間。無所移動。得以解決。此屬別個約束。決定協定中。不之規定云。

共產軍自石碼海澄
漸迫近廈門
各國海軍準備上陸
同安政府軍退却

廈門一日發。聯合電。共產軍。由漳州之第二團。趨陳四軍。自石碼。指向廈門方面。南下。已到海澄。張貞率。約二千。圍攻海澄。同安政府軍退却。共產軍。占據同安。在各地。搶掠行暴。甚慘。僑胞道師。受極度脅迫。

石碼共產軍兇殘
公妻不從慘殺
徵資不應寸磔

二日廈門電。石碼自爲共產軍占據以來。已成恐怖之現象。素封家妻女見捕。强以公妻制度。不從則對其首。而後。慘殺。徵發軍餉。居民不應。亦捕而磔之狀至兇殘。絕無人道。同安張貞率。蔡日於無力討伐方自該地逃亡。赤化形勢。愈見擴大云。

國民政府會議
訂來十日召集洛陽

二日南京電。國民政府。訂來十日於洛陽。召集政府改造以來第二回國民政府會議。會議議題如左。國民代表會議召集之件。一般大赦案。對外國際迫之國防策。國內安定策。水災救濟案。

毛澤東軍優勢
若國府政權被驅逐
日英法將張共同戰線

毛澤東所率紅國軍。即共產軍約有二萬。四月八日侵略南方。九日衝粗岩。僅二十日間。漳州。即屯編建派張貞軍二千。不見交鋒敗退。共產軍。迫至距廈不遠之角尾。又據一說毛澤東之攻略。非爲對福建省全般。組織勞農政府。擴大範圍。蓋三月末。毛對蔣。迫其提供二百五十萬元。被拒而進軍。目下角尾附近。機中毛澤東軍。一舉翻覆廈門乎。或攻陷建派陳國輝軍。即屯之同安。且臨北進。陰謀州亦未可知。目下流言四起。要之。毛澤東之南攻。銳爲欲得漳州附近之阿片收稅。聞既在漳州。徵發六十萬元。石碼六十萬元。合計徵發百二十萬元。金錢爲中華軍兵力。是故徵發阿片稅。財政豐富之同軍。或無視國際情勢。出發準。亦未可知。廈門附近。目下英法軍艦二十餘艘。於陸相官邸。有荒木陸相。小磯次官以下集議。與蔣軍兵力。是故徵發阿片稅。財政豐富之同軍。或無視國際情勢。出發準。亦未可知。廈門附近。目下英法軍艦二十餘艘。於陸相官邸。有荒木陸相。小磯次官以下集議。態不敢爲此。然論述省內南一帶未化。論述省政權之調整。照目下兵力觀之。

浦東遣中國軍入駐
日本同意不得
陸軍態度決定復田代參謀長

二日東京電。停戰協定下交涉。所餘最後問題。即蘇州何以兩中國軍不進出線所劃。中國一邊。二日午後調如左。上海日本租界。對岸浦東三角地帶。必要之時。不在此限。照此精神。單獨證明之件。軍部中央部。二日午後六時。與蔡謀本部連絡。意見一致如左。該三角地點。與日本租界。拒日本租界明哉。是故中國軍入駐該地。是日本所不欲。治安維持。以警官隊必要之時。不在此限。照此精神。單獨證明之件。軍部中央部。二日午後六時。與蔡謀本部連絡。意見一致如左。該三角地點。與日本租界。拒日本租界明哉。是故中國軍入駐該地。是日本所不欲。治安維持。以警官隊必要之時。不在此限。照此精神。單獨證明之件。軍部中央部。二日午後六時。與蔡謀本部連絡。意見一致如左。該三角地點。與日本租界。拒日本租界明哉。是故中國軍入駐該地。是日本所不欲。治安維持。以警官隊必要之時。不在此限。照此精神。單獨證明之件。軍部中央部。二日午後六時。與蔡謀本部連絡。意見一致如左。該三角地點。與日本租界。拒日本租界明哉。是故中國軍入駐該地。是日本所不欲。治安維持。以警官隊必要之時。不在此限。照此精神。單獨證明之件。軍部中央部。二日午後六時。與蔡謀本部連絡。意見一致如左。該三角地點。與日本租界。拒日本租界明哉。是故中國軍入駐該地。是日本所不欲。治安維持。以警官隊必要之時。不在此限。照此精神。單獨證明之件。軍部中央部。二日午後六時。與蔡謀本部連絡。意見一致如左。該三角地點。與日本租界。拒日本租界明哉。是故中國軍入駐該地。是日本所不欲。治安維持。以警官隊必要之時。不在此限。照此精神。單獨證明之件。軍部中央部。二日午後六時。與蔡謀本部連絡。意見一致如左。

中外要電

學生思想委員會。學生思想調查會特別委員會。既得學生思想之根源。及其對策成案。二日午前十時。於文相官邸開總會。決定如下。左傾原因。一、社會情勢。二、思想界。學界傾向。三、教育缺陷。四、馬克斯主義性質。五、左傾運動。六、青年心理。七、境遇及素質。

嘉義市郡下乏水
庄民百餘名監視圳水

嘉義市郡下。農耕地三萬甲。圳水灌溉。僅有五百餘甲。入春以來。僅降雨十二回。且雨量甚多。現道將圳々水減。車店。及附近北社尾。下路頭。及附近方面。早稻漸呈乏水。若此後不雨。必遭旱害。刻下車店全庄民百餘名。每夜輪流。監視圳水。以維防他庄民盜川云。

太刀洗羽田
飛行成功
發七時二十分久

二日羽田電。二日夜九時三十分。太刀洗羽田間。晴夜歸還。飛行機。發太刀洗飛行場。三日午前一時十分。經過福根。四時五十分。安抵羽田飛行場。其經過大阪上空報到。四時二十分。太刀洗飛行場長。及整備員。出迎。機體檢查。結果。無何等故障。即行給油。午前六時。發羽田飛行場。午前九時。安抵太刀洗飛行場。

土地建物會社
本期無配

臺灣土地建物會社。去三十日午後一時。開定時總會。當期因創立以來三取締役自發的勇退。人事費節減三分一。債權銀行之整理。對於同社緊縮整理有所理解。許借入金利息軽減。同社所有土地家屋一部。由臺銀系逢萊土地買收。至前期繼續配利五分。本期無配。欲以充實內容。今後二期間。仍擬不配當云。

陳列育兒良書良藥
配付妊產婦主婦須知

臺北市社會課主催。自月之二日起。五日間。開育兒良書百種及育兒良藥陳列。會於新公園北畔。愛國婦人會臺灣支部。所設幼稚園內。非園患係。總督府圖書館所有。頗有足資參考者。場內臚列。幼稚園々兒手工作品及玩具類。而臺灣社會非業協會。北州支部。亦印刷婦產婦心得及乳幼兒保育。一般標準。一爲於小西湖旅亭。來賓各檢查員。暨其他八九名。組合員出席者三十餘名。首由組合長。吳泗濱氏致禮。次陳煥章。汪永慶兩氏。機起報告親察感想。旋記其大要如下。中部蓬萊米自改用樹乳土壤以降。於內地米商間。更博得好評然蓬萊米移入內地。概攪混內鮮米售出。故在內地除米商業。知有蓬萊米者殊少。關於以與麻袋。補戶難富百斤包草袋。取扱利便。然謂包裝。尚未完全。還是用麻袋好。大阪方面。亦云製草袋。農村增一副業甚佳。奈船車積卸易。易於漏遺。係緩其他同。科醫師。應人商量

臺中米商組
開視察團歸臺
報告會

臺中州米穀商同業組合。主開組合員內地米穀視察團歸臺。觀察報告會。去三十日。午後二時。開於小西湖旅亭。來賓各檢查員。暨其他八九名。組合員出席者三十餘名。首由組合長。吳泗濱氏致禮。次陳煥章。汪永慶兩氏。機起報告視察感想。旋記其大要如下。中部蓬萊米自改用樹乳土壤以降。於內地米商間。更博得好評然蓬萊米移入內地。概攪混內鮮米售出。故在內地除米商業。知有蓬萊米者殊少。關於以與麻袋。補戶難富百斤包草袋。取扱利便。然謂包裝。尚未完全。還是用麻袋好。大阪方面。亦云製草袋。農村增一副業甚佳。奈船車積卸易。易於漏遺。係緩其他同。科醫師。應人商量

重光公使經過不良
再診或當斷足
公使館等各方面憂慮

二日上海電。重光公使。經過不良。發熱兆候。二日午後七時半。注射二十五分鎗彈液四十九。主治醫頓宮博上。川口少佐。與二日到過後藤軍醫監協議。公使足當切斷與否。然以事關重大。且擬二日朝。三氏再診。

嘉義市郡下乏水
庄民百餘名監視圳水

嘉義市郡下。農耕地三萬甲。圳水灌溉。僅有五百餘甲。入春以來。僅降雨十二回。且雨量甚多。現道將圳々水減。車店。及附近北社尾。下路頭。及附近方面。早稻漸呈乏水。若此後不雨。必遭旱害。刻下車店全庄民百餘名。每夜輪流。監視圳水。以維防他庄民盜川云。

臺南州兩年度繼續事業
起州債八十萬圓
架設州下橋梁

臺南州。爲七八兩年度繼續事業。爲計州下交通便利。架設主要。河川橋梁。該工所內。一、應商量之日俾週一回。自金曜午後二時起。受付時間。午後二時半至三時半。但第一回。於五月四日施行。

一、料金不要。

在來米六萬袋
逆移本島

早米登場期緩。島內前途來端境。氣分濃化。在來米在米無多。遲緩米。屢次入口。而自四月初以來。內地逆移入之在來米。杉原四萬五千袋。最多。次加臘七千袋。三井五千五百袋。計六萬五百袋。本部已截入。爲此內地在來米。一空云。

北署檢查
人力車體

北警察署。於去二日起五日間。在陳祖厝兩虎庭。檢查人力車之體。對車輛其他。不完備之點。各一々注意之云。

嘉義市郡下乏水
庄民百餘名監視圳水

嘉義市郡下。農耕地三萬甲。圳水灌溉。僅有五百餘甲。入春以來。僅降雨十二回。且雨量甚多。現道將圳々水減。車店。及附近北社尾。下路頭。及附近方面。早稻漸呈乏水。若此後不雨。必遭旱害。刻下車店全庄民百餘名。每夜輪流。監視圳水。以維防他庄民盜川云。

鳳梨罐詰共販
統制紊亂
不得不妥協

鳳梨罐詰。黑鳳梨同業組合決議。委託鳳梨共販會社販賣。而員林謝元德一派之大同鳳梨會社。大株主在高雄州下。九曲堂。有振興鳳梨會社工場。不參同業組合決議。與之反對。另行販賣。四月末。以罐詰三百箱。不經共販會社之手。直接配出內地。又振泰商行。亦自配出若干。於是鳳梨販賣統制紊亂。在鳳梨同業組合。得以浚收現品。竝加制裁。然振南罐詰。於鳥內不販賣。用第三者名義配出。故不得浚收現品。組合無法可處。仍此得以任意配出。則浚却共販設立意義。現當事者方講究對策。欲與大同鳳梨同業組合妥協。其形勢今猶未可樂觀也。

文教局長等
視察新莊郡

安武文教局長。俗江藤社會課長。井上視學官。藤

臺南州兩年度繼續事業
起州債八十萬圓
架設州下橋梁

臺南州。爲七八兩年度繼續事業。爲計州下交通便利。架設主要。河川橋梁。該工所內。一、應商量之日俾週一回。自金曜午後二時起。受付時間。午後二時半至三時半。但第一回。於五月四日施行。

一、料金不要。

在來米六萬袋
逆移本島

早米登場期緩。島內前途來端境。氣分濃化。在來米在米無多。遲緩米。屢次入口。而自四月初以來。內地逆移入之在來米。杉原四萬五千袋。最多。次加臘七千袋。三井五千五百袋。計六萬五百袋。本部已截入。爲此內地在來米。一空云。

北署檢查
人力車體

北警察署。於去二日起五日間。在陳祖厝兩虎庭。檢查人力車之體。對車輛其他。不完備之點。各一々注意之云。

薄命花之末路
精神異狀逢人自笑
在員林街受大衆圍觀

去五月二日。悲聞。在員林街面。有一精神異狀之少女。走來走去。受大衆圍觀。查該狂女。係生於員林郡某庄。貧農之家。幼時嫁於彰化郡南郭庄陳某之家。爲其苗媳。其後畢業公學。泰臘於某銀行爲職。機由蓬萊隆綠。退歸生家。一朵之薄命花。恒於是鳳梨販賣統制紊亂。在鳳梨同業組合。得以浚收現品。竝加制裁。然振南罐詰。於員內不販賣。用第三者名義配出。故不得浚收現品。組合無法可處。仍此得以任意配出。則浚却共販設立意義。現當事者方講究對策。欲與大同鳳梨同業組合妥協。其形勢今猶未可樂觀也。

文教局長等
視察新莊郡

安武文教局長。俗江藤社會課長。井上視學官。藤

陳列育兒良書良藥
配付妊產婦主婦須知

臺北市社會課主催。自月之二日起。五日間。開育兒良書百種及育兒良藥陳列。會於新公園北畔。愛國婦人會臺灣支部。所設幼稚園內。非園患係。總督府圖書館所有。頗有足資參考者。場內臚列。幼稚園々兒手工作品及玩具類。而臺灣社會非業協會。北州支部。亦印刷婦產婦心得及乳幼兒保育。一般標準。一爲於小西湖旅亭。來賓各檢查員。暨其他八九名。組合員出席者三十餘名。首由組合長。吳泗濱氏致禮。次陳煥章。汪永慶兩氏。機起報告視察感想。旋記其大要如下。中部蓬萊米自改用樹乳土壤以降。於內地米商間。更博得好評然蓬萊米移入內地。概攪混內鮮米售出。故在內地除米商業。知有蓬萊米者殊少。關於以與麻袋。補戶難富百斤包草袋。取扱利便。然謂包裝。尚未完全。還是用麻袋好。大阪方面。亦云製草袋。農村增一副業甚佳。奈船車積卸易。易於漏遺。係緩其他同。科醫師。應人商量

乳幼兒健康
應人商量
四日起無料

臺北市表町一丁目。愛國婦人會臺灣支部。鑒於我國乳幼兒死亡率。多於各國而臺灣尤比內地更甚。此乃由兒童飼育法不諳所致。今回開設乳幼兒健康相談所。凡學孩及未入小學校之幼兒。飼育法。特聘臺北醫院小兒科醫長。安井博士。醫師。應人商量。

傷哉貧病婦
投身運河
生存權不克保

臺南市田町運河。佐々木林置場附近。去一日晚。十二時過。有同町一丁目田桑氏。年三十餘。役於該河中。自殺。聲二朝十時頃。被製材工人。發見。二日工作部對郵便局。四對十四。郵便局優勝。第

重光公使經過不良
再診或當斷足
公使館等各方面憂慮

二日上海電。重光公使。經過不良。發熱兆候。二日午後七時半。注射二十五分鎗彈液四十九。主治醫頓宮博上。川口少佐。與二日到過後藤軍醫監協議。公使足當切斷與否。然以事關重大。且擬二日朝。三氏再診。

中外要電

學生思想委員會。學生思想調查會特別委員會。既得學生思想之根源。及其對策成案。二日午前十時。於文相官邸開總會。決定如下。左傾原因。一、社會情勢。二、思想界。學界傾向。三、教育缺陷。四、馬克斯主義性質。五、左傾運動。六、青年心理。七、境遇及素質。

中外要電

學生思想委員會。學生思想調查會特別委員會。既得學生思想之根源。及其對策成案。二日午前十時。於文相官邸開總會。決定如下。左傾原因。一、社會情勢。二、思想界。學界傾向。三、教育缺陷。四、馬克斯主義性質。五、左傾運動。六、青年心理。七、境遇及素質。

煙小總會

羅東郡下。煙草小農人組合。去三十日午前十時。在羅東公會堂。開第二回總會。是日開議。昭和六年度收支決算。及昭和七年度收支豫算。席上有澁圓所長訓話。式終開茶話會。

青團奉仕

羅東青年團。爲慰勞朝仕所。一日起每日曜日。終日及園員。出役來仕作業。次第也

各種行事
四日島語講演

基隆市。五月五日。兒童日之行事決定如左。

一、乳幼兒選奬會及健康相談所。經於去二日至三日。在基隆醫院。東洋小兒科醫院三處選奬。位座健康相談。

一、婦人集會。訂四日午後一時起。於高砂公園內。同風會館。濱集本島婦人。並博愛醫院醫師張運文氏。及其他等。講演有兒注意事項。位開於妊娠攝生等。希望本島婦人。多數往聽。是日幼稚園。幼兒。有數種遊戲。將動。供觀覽。又五日午後七時起。在公會堂。亦有婦人集會。開講演會及兒童劇等。

基隆兒童日
各種行事
四日島語講演

基隆市。五月五日。兒童日之行事決定如左。

一、乳幼兒選奬會及健康相談所。經於去二日至三日。在基隆醫院。東洋小兒科醫院三處選奬。位座健康相談。

一、婦人集會。訂四日午後一時起。於高砂公園內。同風會館。濱集本島婦人。並博愛醫院醫師張運文氏。及其他等。講演有兒注意事項。位開於妊娠攝生等。希望本島婦人。多數往聽。是日幼稚園。幼兒。有數種遊戲。將動。供觀覽。又五日午後七時起。在公會堂。亦有婦人集會。開講演會及兒童劇等。

中埔庄刃傷
賣餅配利起釁

嘉義郡水上庄三界埔人吳兩司令官。傷是。該部得勝。三對二十六。要塞團。二十三對一。歸工作部優勝。第三作工作部對要塞團。二十三對一。歸工作部優勝。爲是。該部得勝。三對二十六。要塞支隊貨。席上有澁圓所長訓話。式終開茶話會。

永樂市場口杜氏家用車
行人盡避不得衝倒一人
召問中其母竟死

杜清泉氏。臺北市永樂町。派出所史。卯刻杜居街人。上野部補。急僧庵喝託醫。村警部。午前十時。十三分急行車。赴現場檢視。監查。後在葬儀一泊。三日午前中。臨查警察署。午後歸。警察課云。

▲淡水郡三芝庄前庄長曾岳氏夫人。李儒人。去二日逝世。曾氏自領盛後。變力地方公益。庄民信仰。

拘審密屠牛

嘉義郡新巷庄月眉。源人黃扁。年四十五。自本年一月起。至四月中間。密屠牛二十二頭。今番被同部落祭課花田。李。兩刑事探知。去一日拘入司法室訊問後留置云。

豐原
祝天長節

去二十九日午前十時起。在豐原男子公學。校講堂。開當地官民聯合天長節祝賀會。先一同參拜後。合唱君代歌。街長式辭後。陳振春（年四十五）。從勞而出。急轉避之。不意一男子。年約三十內外。忽過其左右。一時欲避不及。竟至衝倒。傷及顏面胸次及手足部。急舁往臺北病院醫治。其人相傳爲豐原產。即召入北署究問。無何。即被其母之訃云。

羅東
奉祝聖誕

羅東街。去二十九日。天長節佳辰。是日午前九時半。放煙火爲號。同十時在羅東小學校。集奉祝式。參列者凡千餘名。定刻市司令官告開式。次奏國歌。全。還是用麻袋好。大阪方面。亦云製草袋。農村增一副業甚佳。奈船車積卸易。易於漏遺。係緩其他同。科醫師。應人商量

永樂市場口杜氏家用車
行人盡避不得衝倒一人
召問中其母竟死

杜清泉氏。臺北市永樂町。派出所史。卯刻杜居街人。上野部補。急僧庵喝託醫。村警部。午前十時。十三分急行車。赴現場檢視。監查。後在葬儀一泊。三日午前中。臨查警察署。午後歸。警察課云。

▲淡水郡三芝庄前庄長曾岳氏夫人。李儒人。去二日逝世。曾氏自領盛後。變力地方公益。庄民信仰。

拘審密屠牛

嘉義郡新巷庄月眉。源人黃扁。年四十五。自本年一月起。至四月中間。密屠牛二十二頭。今番被同部落祭課花田。李。兩刑事探知。去一日拘入司法室訊問後留置云。

豐原
祝天長節

去二十九日午前十時起。在豐原男子公學。校講堂。開當地官民聯合天長節祝賀會。先一同參拜後。合唱君代歌。街長式辭後。陳振春（年四十五）。從勞而出。急轉避之。不意一男子。年約三十內外。忽過其左右。一時欲避不及。竟至衝倒。傷及顏面胸次及手足部。急舁往臺北病院醫治。其人相傳爲豐原產。即召入北署究問。無何。即被其母之訃云。

羅東
奉祝聖誕

羅東街。去二十九日。天長節佳辰。是日午前九時半。放煙火爲號。同十時在羅東小學校。集奉祝式。參列者凡千餘名。定刻市司令官告開式。次奏國歌。全。還是用麻袋好。大阪方面。亦云製草袋。農村增一副業甚佳。奈船車積卸易。易於漏遺。係緩其他同。科醫師。應人商量

傷哉貧病婦
投身運河
生存權不克保

臺北市田町運河。佐々木林置場附近。去一日晚。十二時過。有同町一丁目田桑氏。年三十餘。役於該河中。自殺。聲二朝十時頃。被製材工人。發見。二日工作部對郵便局。四對十四。郵便局優勝。第

煙小總會

羅東郡下。煙草小農人組合。去三十日午前十時。在羅東公會堂。開第二回總會。是日開議。昭和六年度收支決算。及昭和七年度收支豫算。席上有澁圓所長訓話。式終開茶話會。

青團奉仕

羅東青年團。爲慰勞朝仕所。一日起每日曜日。終日及園員。出役來仕作業。次第也

各種行事
四日島語講演

基隆市。五月五日。兒童日之行事決定如左。

一、乳幼兒選奬會及健康相談所。經於去二日至三日。在基隆醫院。東洋小兒科醫院三處選奬。位座健康相談。

一、婦人集會。訂四日午後一時起。於高砂公園內。同風會館。濱集本島婦人。並博愛醫院醫師張運文氏。及其他等。講演有兒注意事項。位開於妊娠攝生等。希望本島婦人。多數往聽。是日幼稚園。幼兒。有數種遊戲。將動。供觀覽。又五日午後七時起。在公會堂。亦有婦人集會。開講演會及兒童劇等。

中埔庄刃傷
賣餅配利起釁

嘉義郡水上庄三界埔人吳兩司令官。傷是。該部得勝。三對二十六。要塞團。二十三對一。歸工作部優勝。第三作工作部對要塞團。二十三對一。歸工作部優勝。爲是。該部得勝。三對二十六。要塞支隊貨。席上有澁圓所長訓話。式終開茶話會。

永樂市場口杜氏家用車
行人盡避不得衝倒一人
召問中其母竟死

杜清泉氏。臺北市永樂町。派出所史。卯刻杜居街人。上野部補。急僧庵喝託醫。村警部。午前十時。十三分急行車。赴現場檢視。監查。後在葬儀一泊。三日午前中。臨查警察署。午後歸。警察課云。

▲淡水郡三芝庄前庄長曾岳氏夫人。李儒人。去二日逝世。曾氏自領盛後。變力地方公益。庄民信仰。

拘審密屠牛

嘉義郡新巷庄月眉。源人黃扁。年四十五。自本年一月起。至四月中間。密屠牛二十二頭。今番被同部落祭課花田。李。兩刑事探知。去一日拘入司法室訊問後留置云。

豐原
祝天長節

去二十九日午前十時起。在豐原男子公學。校講堂。開當地官民聯合天長節祝賀會。先一同參拜後。合唱君代歌。街長式辭後。陳振春（年四十五）。從勞而出。急轉避之。不意一男子。年約三十內外。忽過其左右。一時欲避不及。竟至衝倒。傷及顏面胸次及手足部。急舁往臺北病院醫治。其人相傳爲豐原產。即召入北署究問。無何。即被其母之訃云。

羅東
奉祝聖誕

羅東街。去二十九日。天長節佳辰。是日午前九時半。放煙火爲號。同十時在羅東小學校。集奉祝式。參列者凡千餘名。定刻市司令官告開式。次奏國歌。全。還是用麻袋好。大阪方面。亦云製草袋。農村增一副業甚佳。奈船車積卸易。易於漏遺。係緩其他同。科醫師。應人商量

傷哉貧病婦
投身運河
生存權不克保

臺北市田町運河。佐々木林置場附近。去一日晚。十二時過。有同町一丁目田桑氏。年三十餘。役於該河中。自殺。聲二朝十時頃。被製材工人。發見。二日工作部對郵便局。四對十四。郵便局優勝。第

竹山勞働日
檢舉數名

竹山郡竹山。五一勞働節。當局因考慮文協及農組支部員。有種々策動。故特派便衣隊。（私服巡查）往防。未然。結局檢舉張坤南。林如撰等數名。暫爲留置云。

臺灣日日新報 第一萬一千五百十八號 昭和六年五月四日（可認物便第三種郵便物）【朝刊八頁】

臺灣日日新報

日本及臺灣各地共二十頁 定價一部金拾錢 料金一箇月金貳圓

勅諭奉戴五十周年記念出版

海軍讀本

大海大海軍軍臣將元帥
加藤寬治序
平田晋策著
大角生海相
加藤寬治序 ◆ 愈發賣 ◆
定價二圓 送料十四錢

加藤大海相
大角海相

日く 平田君が適當な挿繪を挿入すると共に我が海軍が開闢以來の大光輝を發揮せる日露の大海戦を始め……

日く 所謂國防は軍人のみの責任に非ず國民亦其の一員たるの自覺を以て……

陸軍讀本

昭和新刊 價一圓 送料十四錢

陸軍讀本

燦然たる姉妹版
平田晋策著 四百七十餘頁 實費

見よ!! 充實せる内容を!!（廣告）

大日本帝國海軍論 太平洋と帝國海軍 現代の海軍 軍艦 兵器 翼の守り 海國航空隊 世界の海軍 帝國海軍の組織 國防の第二線 ●附録 海軍兵役綱領法規外七項 海軍の兵語◆

日本評論社
東京丸の内 昭和ビル 振替東京一六 電話丸の内四一三一（代）

高砂ミードビール

福運王冠 景品
景品附大賣出し

神經衰弱治療法

五月一日號

本日之註文

愈發見 時代に適應した新成功法（公開）
偉人敬慕の思想と其感化（増田刑長）
滿洲國への進出策と準備（渡邊鐵藏）
採用者應募者數一覽
人社試験問題集!!
街頭新商賣十種
農學教師が無一文から葡萄酒を賣出す
名聲のあがる人相
愛國號獻納伍長の賣出
秘聞 株界に躍る二人男
三百萬圓儲けて足を洗った齋藤定吉君
一億の財を擁してカキ廻す中野北六商店君
無手勝流の金儲けの達人近藤荒樹君
就職からめ手戰術（三版）
滿鐵幹部動靜と八田副總裁
大財閥初代物語 白柳秀湖
スタンダード石油王の奮闘傳
有賀長文氏の人物
不眠症の原因と治療法（樫田學士）
神經衰弱の根治法（福島博士）
痲痺性癡呆の症狀と療法（森田博士）
強迫觀念の原因と根治法（森田博士）
お灸で神經衰弱を治す法（原博士）
●日當たらず風通しよき事
●清潔なる事
●適當の運動をなす事
●規則正しき生活をなす事
●身體を冷やさざる事
●精神を安靜にする事
●過勞を避くる事
●心配事を去る事
●適當の娯樂をなす事
●適當の睡眠をとる事
●適當の食物をとる事
●便通を規則正しくする事
●入浴を怠らざる事
●適當の休養をとる事
●適當の日光浴をなす事
●適當の空氣を吸ふ事
●適當の飲料水をとる事
●適當の衣服をつくる事
●適當の體重をつくる事
●適當の姿勢をとる事
●適當の呼吸をなす事
●適當の仕事をなす事
●適當の遊戯をなす事
●適當の散歩をなす事
●適當の旅行をなす事
●適當の趣味をもつ事
●適當の信仰をもつ事
●適當の希望をもつ事
●適當の目的をもつ事
●適當の理想をもつ事
●適當の人生觀をもつ事
●適當の宇宙觀をもつ事
●適當の世界觀をもつ事
●適當の國家觀をもつ事
●適當の社會觀をもつ事
●適當の家庭觀をもつ事
●適當の個人觀をもつ事
●適當の自己觀をもつ事
●適當の自己觀をもつ事
●適當の自己

四日の最終會議で 停戰協定の正式調印

支那文が間に合はなければ 四日は英文にて調印

【上海二日發電通】　本日午後の停戰本會議で協定案(英、日文)に付き最後的整備を行ふことゝなつたが、支那文も二日中には完了の見込みなので、最後の正式調印は四日の最終會議で行はるるに決した、而して支那文間に合はざる時は四日は英文にて調印し、效力發生は日支文の調印完了を待つて發生することゝなつた

【上海二日發電通】　停戰會議本會議は郭泰祺の遭難により本日開會されぬ事となつた、郭の負傷は全治約十日の見込みで四國公使及び關係者後藤讀寄り〳〵協議中である代つて二日上海に向つた

調印するなど迫りて 拒絶するや暴行

郭泰祺の遭難後報

【上海二日發電通】　郭泰祺を襲つたのは昨年の外上海市國際會議に際つて支那側の首席代表として活躍した顧維鈞氏の秘書であつた事が判明した、顧は直ちに國際の治安を維持する爲に設けられた特別警察隊に逮捕されたが、犯行の動機については目下嚴重取調べ中である

【上海二日發電通】　郭泰祺の遭難は二日午後一時半頃虹口の病院に於て發表されたが、郭は直ちに國際の治安を維持する爲に設けられた特別警察隊に逮捕されたが、犯行の動機については目下嚴重取調べ中である

【上海二日發電通】　郭泰祺の遭難は二日午後一時半頃虹口の病院に於て發表されたが、郭は直ちに國際の治安を維持する爲に設けられた特別警察隊に逮捕されたが、犯行の動機については目下嚴重取調べ中である

皇軍撤退區域の 特別警察隊

一部は上海に向ふ

【上海二日發電通】　日本軍撤退區域の治安維持に當る外人を含む支那側の特別警察隊は國際警察隊三千五百、一般市民二千五百の計六千名を以て組織され二日午前十時から國際警察隊は正午終了したが、陸戰隊リットン卿より公式に調査團人員の提出を求め、調査方針につき打合せを行つたが、陸軍安藤參謀長は調査團の入滬は愈〻から改めて通知する旨を答へた、本日の會見では單に調査團の來滬を歡迎するに止まり、調査團の具體的活動に關しては何等觸れなかつた

【新京三日發電通】　リットン卿(英)、ブラツチ(佛)、マコイ(米)、シュネー(獨)の五國調査委員吉田大使と共に三日午前十時から國務院にて正午終了した

永田少將渡支

【東京三日發電通】　參謀本部第二部長永田少將は三日總督官邸下の客

調査團と謝總長の 正式會見行はる

滿洲國承認は哀願せぬと 謝介石氏は強腰

【新京三日發電通】　調査團は午後一時すぎ長春領事館に到着、土肥原少將、駐本關東軍參謀長等を訪ひ約五十分間滿洲事變の鄕火線たる萬寶山事件、中村大尉事件の現場を視察した

【新京三日發電通】　調査團は午後一時すぎ長春領事館に到着、土肥原少將、駐本關東軍參謀長等を訪ひ約五十分間滿洲事變の鄕火線たる萬寶山事件、中村大尉事件の現場を視察した

【新京三日發電通】　調査團と吉田參與官は三日午前九時三十分より政務部次長を訪問し入滿以來の各地に於ける歡迎振りを聽取し、午前十時より國務院に於て鄭總理、謝外交總長と會見した

【新京三日發電通】　調査團は午後一時すぎ長春領事館に到着、土肥原少將、駐本關東軍參謀長等を訪ひ約五十分間滿洲事變の鄕火線たる萬寶山事件、中村大尉事件の現場を視察した

【新京三日發電通】　調査團と謝總長との會見は午後四時より國務院に於て開かれ、謝總長より滿洲國成立に關する說明をなし、調査團長リットン卿より答辯があつた、リットン卿は滿洲國成立に關する說明に對しては何等觸れなかつたが、滿洲國の獨立は滿洲國民の自發的意思に基くものであるとの點を强調したものゝ如く、會見は極めて圓滿裡に終始した

【新京三日發電通】　調査團と謝總長との會見は午後四時より國務院に於て開かれ、謝總長より滿洲國成立に關する說明をなし、調査團長リットン卿より答辯があつた、リットン卿は滿洲國成立に關する說明に對しては何等觸れなかつたが、滿洲國の獨立は滿洲國民の自發的意思に基くものであるとの點を强調したものゝ如く、會見は極めて圓滿裡に終始した

調査團一行 溥儀執政を訪問

入國最初の儀禮的交驩

【新京三日發電通】　支那調査團五國調査員と吉田參與官は三日午前九時三十分より執政溥儀氏を訪問し入國最初の儀禮的交驩を行つた、これにより調査團は滿洲國承認の實質上主體となつて取扱はるゝことゝなつた

【新京三日發電通】　支那調査團五國調査員と吉田參與官は三日午前九時三十分より執政溥儀氏を訪問し入國最初の儀禮的交驩を行つた、これにより調査團は滿洲國承認の實質上主體となつて取扱はるゝことゝなつた

滿洲國の名は 括弧内に

後藤博士が診療

【新京三日發電通】　調査團一行の顧問たる後藤博士は三日午前九時半から川田滿鐵總裁の先導の下に重光公使の診察を受し經過良好を傳へた

公使は昨夜よく睡眠を取つたのと患部を氷で冷したので經過好調にこの儘行方に向へば左脚切斷の手術をしないで濟むかも知れぬ、今後の經過は明日更にレントゲンで彈丸の位置を確め適當に處置するがまた安心出來ぬ

【上海二日發電通】　重光公使の腰部切斷は醫師團では極力之を避け

切らぬで濟むか 重光公使の左脚

後藤博士が診療

【新京三日發電通】　九大教授後藤醫學博士は三日午前九時半から川田滿鐵總裁の先導の下に重光公使の診察を行つたが手當後經過良好と傳へる

公使は昨夜よく睡眠を取つたのと患部を氷で冷したので經過好調にこの儘行方に向へば左脚切斷の手術をしないで濟むかも知れぬ、今後の經過は明日更にレントゲンで彈丸の位置を確め適當に處置するがまた安心出來ぬ

【上海二日發電通】　重光公使の腰部切斷は醫師團では極力之を避け

顧維鈞

ホテル籠城

【新京二日發電通】　顧維鈞一行の顧問たる後藤博士は三日午前九時半から川田滿鐵總裁の先導の下に重光公使の診察を行つたが手當後經過良好と傳へる

公使は昨夜よく睡眠を取つたのと患部を氷で冷したので經過好調にこの儘行方に向へば左脚切斷の手術をしないで濟むかも知れぬ、今後の經過は明日更にレントゲンで彈丸の位置を確め適當に處置するがまた安心出來ぬ

【上海二日發電通】　重光公使の腰部切斷は醫師團では極力之を避け

特別金融 制度調査

新に調査會設立

【東京三日發電通】　政府は今回の金融緩和策に關聯し、新に特別金融制度調査會を設置し、新に特別金融制度に關する重要事項の調査のため特別金融制度調査會を設立することに決定し、期限を本日發表したがこの委員及び幹事等氏名は左の通りである

議會を前に 野黨の戰陣

政府の無誠意糾彈

【東京二日發電通】　第六十二議會は來る六日召集されることに決定したが、政友會は今回の議會に於ては政府の無誠意を糾彈し、政府の施政方針演說に對しては質問演說を行はず、直ちに豫算委員會に移つて豫算の審議に入る方針を決定した

臺灣糖の生産減 協議纏らず

甘蔗の買入値段は 大體前年通りと決定

【東京三日發電通】　臨時糖業調査會では三日同會第一部會に於て協議會を開き、昭和八年期の生産額に關し、昭和八年期製糖の生産額に關し、昭和六、七、八年度三ケ年間に於ける各地製糖會社の製糖能力に鑑み、昭和八年度に甘蔗買入價格を決定するに當り、昭和六、七、八年の三ケ年を主眼とし、當局當局の一致を見るに至らず、來る六日更に協議することになつた、尙ほ同會は甘蔗の買入價格は大體前年通りと方針を決定した

我が代表部から 文書を提出

航空母艦の攻撃的 性能に關して

【ロンドン二日發電通】　軍縮日本代表部では本日倫敦會議に對し航空母艦の保有量を擴大するために最近國際の地盤へ飛行場を築き目的を有する事由かで、艦船の場所を設置する事由かで、艦船の場所を設置する事由かで、艦船の場所を設置

夏季風物詩 ぬらかし々拶

業を煮やした地方民
下淡水溪治水工事
近く促進陳情書提出か
白木原技師辯明一くさり

下淡水溪治水工事ハ昨年暴風雨ノ際ニ於ケル被害ニ鑑ミ起工當時各方面ヨリ多大ノ期待ヲ持ツテ居タニモ拘ラズ其ノ後ノ經過ヲ見ルニ昭和二年度ハ全ク工事ヲ施行セズ又三年度ニ於テモ僅カニ一部ノ施行ヲ見タルノミデ其ノ後ハ全ク工事ヲ施行セザルノミナラズ其ノ間ニ於ケル下淡水溪ノ河岸ハ年々歳々ノ洪水ノ爲メニ浸蝕セラレ其ノ被害ハ實ニ驚クベキモノアリ殊ニ昨年ノ暴風雨ニ於テハ實ニ數百町歩ノ田園ガ一面ノ泥海ト化シ其ノ被害ハ實ニ數十萬圓ニ達シ其ノ爲メ農民ハ塗炭ノ苦ヲ嘗メ居ルノ狀態ニアリ從ツテ地方民ハ今ヤ其ノ忍耐ノ緒ヲ斷チ切ラントシ其ノ筋ニ對シ治水工事ノ速カナル施行ヲ陳情スベク目下其ノ準備中ニアリ

長洲三隊の計畫県防延長二萬二千九百米ハ同年度末マデニハ未ダ手ヲ着ケズ僅カニ一部ノ施行ヲ見ルニ過ギズ從ツテ昨年ノ暴風雨ニ際シテハ全ク無防備ノ狀態ニアリシガ爲メ其ノ被害ハ實ニ驚クベキモノアリ殊ニ昨年ノ暴風雨ニ際シテハ全ク無防備ノ狀態ニアリシガ爲メ其ノ被害ハ實ニ驚クベキモノアリ

丁場ハ墨光高雄州下東果、東龍鐵山、旗山、檨仔林五部落内ニ亘ル約二萬五千甲ノ洪水被害ヲ免レシメンガ爲メ昭和二年度ハ全ク工事ヲ施行セズ又三年度ニ於テモ僅カニ一部ノ施行ヲ見タルノミデ其ノ後ハ全ク工事ヲ施行セザルノミナラズ其ノ間ニ於ケル下淡水溪ノ河岸ハ年々歳々ノ洪水ノ爲メニ浸蝕セラレ其ノ被害ハ實ニ數十萬圓ニ達シ其ノ爲メ農民ハ塗炭ノ苦ヲ嘗メ居ルノ狀態ニアリ從ツテ地方民ハ今ヤ其ノ忍耐ノ緒ヲ斷チ切ラントシ其ノ筋ニ對シ治水工事ノ速カナル施行ヲ陳情スベク目下其ノ準備中ニアリ

崩潰する大石を
避けて溪底へ墜落
後頭部を打つて生命危篤

【高雄電話】高雄州旗山郡甲仙庄東阿里關駐在所ノ巡査ハ二日午後三時仕事ノ爲メ同庄内ノ山林ニ出張シ午後五時頃仕事ヲ終リ帰路ニ就カントシタル際突然大石ノ崩潰シテ來ルニヨリ之ヲ避ケントシテ溪底ニ墜落シ後頭部ニ強キ打撲ヲ受ケ即死シタリ

支拂額は
約四百萬圓

丁場ハ墨光高雄州下東果、東龍鐵山、旗山、檨仔林五部落内ニ亘ル約二萬五千甲ノ洪水被害ヲ免レシメンガ爲メ昭和二年度ハ全ク工事ヲ施行セズ又三年度ニ於テモ僅カニ一部ノ施行ヲ見タルノミデ其ノ後ハ全ク工事ヲ施行セザルノミナラズ其ノ間ニ於ケル下淡水溪ノ河岸ハ年々歳々ノ洪水ノ爲メニ浸蝕セラレ其ノ被害ハ實ニ驚クベキモノアリ殊ニ昨年ノ暴風雨ニ際シテハ全ク無防備ノ狀態ニアリシガ爲メ其ノ被害ハ實ニ驚クベキモノアリ

繰延々々となり小林の
災民は泣寢入り
主任技師は辭る

【高雄電話】高雄州旗山郡甲仙庄東阿里關駐在所ノ巡査ハ二日午後三時仕事ノ爲メ同庄内ノ山林ニ出張シ午後五時仕事ヲ終リ帰路ニ就カントシタル際突然大石ノ崩潰シテ來ルニヨリ之ヲ避ケントシテ溪底ニ墜落シ後頭部ニ強キ打撲ヲ受ケ即死シタリ

法院新竹支部獨立問題
住野法院長に
新竹有志の陳情
院長曰く「聲を大にせよ」

新竹有志ノ住野司法院長歓迎會ハ二日午後六時半ヨリ湖畔ニテ開催所用ノ挨拶ト法院支部獨立ノ必要ニ關シ住野氏ノ意嚮ヲ述ベ開催ノ機運ハ現在ノ上カラ云ツテモ熟シ居ルモ必ズ近キ將來ノ内ニ實現セラルベキモノデアルガ財政緊縮ノ爲メ延ビナツテヰル、玆ニ共ノ特殊トシテ當力ヲツクス考ヘデアルガ地方ノ有志モ努メラレタイト述ベ數ヲツクシ八時半散會シタガ出席者ハ約二千餘名ノ出席者ガアツタ

阿里山鐵道の
列車時刻改正
五日から實施

【臺南電話】阿里山鐵道ハ五日ヨリ次ノ通リ改正ノ上ニ實施セラレル▲臺南發午前七時二十分、同十時二十分、同八時五分、同十時二十分▲北門驛發午前七時、同十時三十分、同八時三十三分、同八時十七分、同十時四十六分

親爺返リ討ち
仇討ちて
却つて大怪我

新竹郡香山庄居住一四〇番地張天生（三）ハ一月午後六時頃自宅ニ於テ同地一四六番地張天成（三）ト喧嘩シ打ツテ出デタル天成ノ父張天福（五）ヲ天生ハ天成ノ加勢ヲナシ天福ヲ打倒シ更ニ天福ノ倒レタルヲ幸ヒ天生ハ天福ノ頭部ヲ踏ミ附ケ又天成ハ天福ノ腹部ヲ蹴リ附ケ天福ハ内臓破裂ノ爲メ翌二日午前八時死亡シタルヲ以テ新竹署ニ於テ兩名ヲ檢擧取調ベタルニ

ラヂオ版

今日の番組　五月四日(水)　J.P.A.K.

午前の部

【六・〇〇】朝の體操(ラヂオ體操)(六・〇〇)【六・一〇】今日の天氣豫報と海の報知(六・一〇)【六・二〇】柔道日本選手權試合(東京)(六・二〇)【八・〇〇】全國標準時報告(八・〇〇)【八・一〇】番組豫告並に講演ハプシンコートの場合について(八・一〇)【一〇・〇〇】午前の氣象報告(一〇・〇〇)【一〇・一〇】立合演藝(一〇・一〇)【一一・〇〇】日用品小祝(一一・〇〇)【一一・一〇】(一一・一〇)

午後の部

【一二・〇〇】放送局報(一二・〇〇)【一二・一〇】(一二・一〇)【一二・二〇】(一二・二〇)【一二・三〇】(一二・三〇)【一二・四〇】(一二・四〇)【一二・五〇】(一二・五〇)【一三・〇〇】(一三・〇〇)【一三・一〇】(一三・一〇)【一三・二〇】(一三・二〇)【一三・三〇】(一三・三〇)【一三・四〇】(一三・四〇)【一三・五〇】(一三・五〇)【一四・〇〇】(一四・〇〇)【一四・一〇】(一四・一〇)【一四・二〇】(一四・二〇)【一四・三〇】(一四・三〇)【一四・四〇】(一四・四〇)【一四・五〇】(一四・五〇)【一五・〇〇】(一五・〇〇)【一五・一〇】(一五・一〇)【一五・二〇】(一五・二〇)【一五・三〇】(一五・三〇)【一五・四〇】(一五・四〇)【一五・五〇】(一五・五〇)【一六・〇〇】(一六・〇〇)【一六・一〇】(一六・一〇)【一六・二〇】(一六・二〇)【一六・三〇】(一六・三〇)【一六・四〇】(一六・四〇)【一六・五〇】(一六・五〇)【一七・〇〇】(一七・〇〇)【一七・一〇】(一七・一〇)【一七・二〇】(一七・二〇)【一七・三〇】(一七・三〇)【一七・四〇】(一七・四〇)【一七・五〇】(一七・五〇)【一八・〇〇】(一八・〇〇)【一八・一〇】(一八・一〇)【一八・二〇】(一八・二〇)【一八・三〇】(一八・三〇)【一八・四〇】(一八・四〇)【一八・五〇】(一八・五〇)【一九・〇〇】(一九・〇〇)【一九・一〇】(一九・一〇)【一九・二〇】(一九・二〇)【一九・三〇】(一九・三〇)【一九・四〇】(一九・四〇)【一九・五〇】(一九・五〇)【二〇・〇〇】(二〇・〇〇)【二〇・一〇】(二〇・一〇)【二〇・二〇】(二〇・二〇)【二〇・三〇】(二〇・三〇)【二〇・四〇】(二〇・四〇)【二〇・五〇】(二〇・五〇)【二一・〇〇】(二一・〇〇)【二一・一〇】(二一・一〇)【二一・二〇】(二一・二〇)【二一・三〇】(二一・三〇)【二一・四〇】(二一・四〇)【二一・五〇】(二一・五〇)【二二・〇〇】(二二・〇〇)【二二・一〇】(二二・一〇)【二二・二〇】(二二・二〇)【二二・三〇】(二二・三〇)【二二・四〇】(二二・四〇)【二二・五〇】(二二・五〇)【二三・〇〇】(二三・〇〇)【二三・一〇】(二三・一〇)【二三・二〇】(二三・二〇)【二三・三〇】(二三・三〇)【二三・四〇】(二三・四〇)【二三・五〇】(二三・五〇)【二四・〇〇】(二四・〇〇)【二四・一〇】(二四・一〇)【二四・二〇】(二四・二〇)【二四・三〇】(二四・三〇)【二四・四〇】(二四・四〇)【二四・五〇】(二四・五〇)【二五・〇〇】(二五・〇〇)【二五・一〇】(二五・一〇)【二五・二〇】(二五・二〇)【二五・三〇】(二五・三〇)【二五・四〇】(二五・四〇)【二五・五〇】(二五・五〇)【二六・〇〇】(二六・〇〇)【二六・一〇】(二六・一〇)【二六・二〇】(二六・二〇)【二六・三〇】(二六・三〇)【二六・四〇】(二六・四〇)【二六・五〇】(二六・五〇)【二七・〇〇】(二七・〇〇)【二七・一〇】(二七・一〇)【二七・二〇】(二七・二〇)【二七・三〇】(二七・三〇)【二七・四〇】(二七・四〇)【二七・五〇】(二七・五〇)【二八・〇〇】(二八・〇〇)【二八・一〇】(二八・一〇)【二八・二〇】(二八・二〇)【二八・三〇】(二八・三〇)【二八・四〇】(二八・四〇)【二八・五〇】(二八・五〇)【二九・〇〇】(二九・〇〇)【二九・一〇】(二九・一〇)【二九・二〇】(二九・二〇)【二九・三〇】(二九・三〇)【二九・四〇】(二九・四〇)【二九・五〇】(二九・五〇)【三〇・〇〇】(三〇・〇〇)【三〇・一〇】(三〇・一〇)【三〇・二〇】(三〇・二〇)【三〇・三〇】(三〇・三〇)【三〇・四〇】(三〇・四〇)【三〇・五〇】(三〇・五〇)【三一・〇〇】(三一・〇〇)【三一・一〇】(三一・一〇)【三一・二〇】(三一・二〇)【三一・三〇】(三一・三〇)【三一・四〇】(三一・四〇)【三一・五〇】(三一・五〇)【三二・〇〇】(三二・〇〇)【三二・一〇】(三二・一〇)【三二・二〇】(三二・二〇)【三二・三〇】(三二・三〇)【三二・四〇】(三二・四〇)【三二・五〇】(三二・五〇)【三三・〇〇】(三三・〇〇)【三三・一〇】(三三・一〇)【三三・二〇】(三三・二〇)【三三・三〇】(三三・三〇)【三三・四〇】(三三・四〇)【三三・五〇】(三三・五〇)【三四・〇〇】(三四・〇〇)【三四・一〇】(三四・一〇)【三四・二〇】(三四・二〇)【三四・三〇】(三四・三〇)【三四・四〇】(三四・四〇)【三四・五〇】(三四・五〇)【三五・〇〇】(三五・〇〇)【三五・一〇】(三五・一〇)【三五・二〇】(三五・二〇)【三五・三〇】(三五・三〇)【三五・四〇】(三五・四〇)【三五・五〇】(三五・五〇)【三六・〇〇】(三六・〇〇)【三六・一〇】(三六・一〇)【三六・二〇】(三六・二〇)【三六・三〇】(三六・三〇)【三六・四〇】(三六・四〇)【三六・五〇】(三六・五〇)【三七・〇〇】(三七・〇〇)【三七・一〇】(三七・一〇)【三七・二〇】(三七・二〇)【三七・三〇】(三七・三〇)【三七・四〇】(三七・四〇)【三七・五〇】(三七・五〇)【三八・〇〇】(三八・〇〇)【三八・一〇】(三八・一〇)【三八・二〇】(三八・二〇)【三八・三〇】(三八・三〇)【三八・四〇】(三八・四〇)【三八・五〇】(三八・五〇)【三九・〇〇】(三九・〇〇)【三九・一〇】(三九・一〇)【三九・二〇】(三九・二〇)【三九・三〇】(三九・三〇)【三九・四〇】(三九・四〇)【三九・五〇】(三九・五〇)【四〇・〇〇】(四〇・〇〇)【四〇・一〇】(四〇・一〇)【四〇・二〇】(四〇・二〇)【四〇・三〇】(四〇・三〇)【四〇・四〇】(四〇・四〇)【四〇・五〇】(四〇・五〇)【四一・〇〇】(四一・〇〇)【四一・一〇】(四一・一〇)【四一・二〇】(四一・二〇)【四一・三〇】(四一・三〇)【四一・四〇】(四一・四〇)【四一・五〇】(四一・五〇)【四二・〇〇】(四二・〇〇)【四二・一〇】(四二・一〇)【四二・二〇】(四二・二〇)【四二・三〇】(四二・三〇)【四二・四〇】(四二・四〇)【四二・五〇】(四二・五〇)【四三・〇〇】(四三・〇〇)【四三・一〇】(四三・一〇)【四三・二〇】(四三・二〇)【四三・三〇】(四三・三〇)【四三・四〇】(四三・四〇)【四三・五〇】(四三・五〇)【四四・〇〇】(四四・〇〇)【四四・一〇】(四四・一〇)【四四・二〇】(四四・二〇)【四四・三〇】(四四・三〇)【四四・四〇】(四四・四〇)【四四・五〇】(四四・五〇)【四五・〇〇】(四五・〇〇)【四五・一〇】(四五・一〇)【四五・二〇】(四五・二〇)【四五・三〇】(四五・三〇)【四五・四〇】(四五・四〇)【四五・五〇】(四五・五〇)【四六・〇〇】(四六・〇〇)【四六・一〇】(四六・一〇)【四六・二〇】(四六・二〇)【四六・三〇】(四六・三〇)【四六・四〇】(四六・四〇)【四六・五〇】(四六・五〇)【四七・〇〇】(四七・〇〇)【四七・一〇】(四七・一〇)【四七・二〇】(四七・二〇)【四七・三〇】(四七・三〇)【四七・四〇】(四七・四〇)【四七・五〇】(四七・五〇)【四八・〇〇】(四八・〇〇)【四八・一〇】(四八・一〇)【四八・二〇】(四八・二〇)【四八・三〇】(四八・三〇)【四八・四〇】(四八・四〇)【四八・五〇】(四八・五〇)【四九・〇〇】(四九・〇〇)【四九・一〇】(四九・一〇)【四九・二〇】(四九・二〇)【四九・三〇】(四九・三〇)【四九・四〇】(四九・四〇)【四九・五〇】(四九・五〇)【五〇・〇〇】(五〇・〇〇)【五〇・一〇】(五〇・一〇)【五〇・二〇】(五〇・二〇)【五〇・三〇】(五〇・三〇)【五〇・四〇】(五〇・四〇)【五〇・五〇】(五〇・五〇)【五一・〇〇】(五一・〇〇)【五一・一〇】(五一・一〇)【五一・二〇】(五一・二〇)【五一・三〇】(五一・三〇)【五一・四〇】(五一・四〇)【五一・五〇】(五一・五〇)【五二・〇〇】(五二・〇〇)【五二・一〇】(五二・一〇)【五二・二〇】(五二・二〇)【五二・三〇】(五二・三〇)【五二・四〇】(五二・四〇)【五二・五〇】(五二・五〇)【五三・〇〇】(五三・〇〇)【五三・一〇】(五三・一〇)【五三・二〇】(五三・二〇)【五三・三〇】(五三・三〇)【五三・四〇】(五三・四〇)【五三・五〇】(五三・五〇)【五四・〇〇】(五四・〇〇)【五四・一〇】(五四・一〇)【五四・二〇】(五四・二〇)【五四・三〇】(五四・三〇)【五四・四〇】(五四・四〇)【五四・五〇】(五四・五〇)【五五・〇〇】(五五・〇〇)【五五・一〇】(五五・一〇)【五五・二〇】(五五・二〇)【五五・三〇】(五五・三〇)【五五・四〇】(五五・四〇)【五五・五〇】(五五・五〇)【五六・〇〇】(五六・〇〇)【五六・一〇】(五六・一〇)【五六・二〇】(五六・二〇)【五六・三〇】(五六・三〇)【五六・四〇】(五六・四〇)【五六・五〇】(五六・五〇)【五七・〇〇】(五七・〇〇)【五七・一〇】(五七・一〇)【五七・二〇】(五七・二〇)【五七・三〇】(五七・三〇)【五七・四〇】(五七・四〇)【五七・五〇】(五七・五〇)【五八・〇〇】(五八・〇〇)【五八・一〇】(五八・一〇)【五八・二〇】(五八・二〇)【五八・三〇】(五八・三〇)【五八・四〇】(五八・四〇)【五八・五〇】(五八・五〇)【五九・〇〇】(五九・〇〇)【五九・一〇】(五九・一〇)【五九・二〇】(五九・二〇)【五九・三〇】(五九・三〇)【五九・四〇】(五九・四〇)【五九・五〇】(五九・五〇)【六〇・〇〇】(六〇・〇〇)【六〇・一〇】(六〇・一〇)【六〇・二〇】(六〇・二〇)【六〇・三〇】(六〇・三〇)【六〇・四〇】(六〇・四〇)【六〇・五〇】(六〇・五〇)【六一・〇〇】(六一・〇〇)【六一・一〇】(六一・一〇)【六一・二〇】(六一・二〇)【六一・三〇】(六一・三〇)【六一・四〇】(六一・四〇)【六一・五〇】(六一・五〇)【六二・〇〇】(六二・〇〇)【六二・一〇】(六二・一〇)【六二・二〇】(六二・二〇)【六二・三〇】(六二・三〇)【六二・四〇】(六二・四〇)【六二・五〇】(六二・五〇)【六三・〇〇】(六三・〇〇)【六三・一〇】(六三・一〇)【六三・二〇】(六三・二〇)【六三・三〇】(六三・三〇)【六三・四〇】(六三・四〇)【六三・五〇】(六三・五〇)【六四・〇〇】(六四・〇〇)【六四・一〇】(六四・一〇)【六四・二〇】(六四・二〇)【六四・三〇】(六四・三〇)【六四・四〇】(六四・四〇)【六四・五〇】(六四・五〇)【六五・〇〇】(六五・〇〇)【六五・一〇】(六五・一〇)【六五・二〇】(六五・二〇)【六五・三〇】(六五・三〇)【六五・四〇】(六五・四〇)【六五・五〇】(六五・五〇)【六六・〇〇】(六六・〇〇)【六六・一〇】(六六・一〇)【六六・二〇】(六六・二〇)【六六・三〇】(六六・三〇)【六六・四〇】(六六・四〇)【六六・五〇】(六六・五〇)【六七・〇〇】(六七・〇〇)【六七・一〇】(六七・一〇)【六七・二〇】(六七・二〇)【六七・三〇】(六七・三〇)【六七・四〇】(六七・四〇)【六七・五〇】(六七・五〇)【六八・〇〇】(六八・〇〇)【六八・一〇】(六八・一〇)【六八・二〇】(六八・二〇)【六八・三〇】(六八・三〇)【六八・四〇】(六八・四〇)【六八・五〇】(六八・五〇)【六九・〇〇】(六九・〇〇)【六九・一〇】(六九・一〇)【六九・二〇】(六九・二〇)【六九・三〇】(六九・三〇)【六九・四〇】(六九・四〇)【六九・五〇】(六九・五〇)【七〇・〇〇】(七〇・〇〇)【七〇・一〇】(七〇・一〇)【七〇・二〇】(七〇・二〇)【七〇・三〇】(七〇・三〇)【七〇・四〇】(七〇・四〇)【七〇・五〇】(七〇・五〇)【七一・〇〇】(七一・〇〇)【七一・一〇】(七一・一〇)【七一・二〇】(七一・二〇)【七一・三〇】(七一・三〇)【七一・四〇】(七一・四〇)【七一・五〇】(七一・五〇)【七二・〇〇】(七二・〇〇)【七二・一〇】(七二・一〇)【七二・二〇】(七二・二〇)【七二・三〇】(七二・三〇)【七二・四〇】(七二・四〇)【七二・五〇】(七二・五〇)【七三・〇〇】(七三・〇〇)【七三・一〇】(七三・一〇)【七三・二〇】(七三・二〇)【七三・三〇】(七三・三〇)【七三・四〇】(七三・四〇)【七三・五〇】(七三・五〇)【七四・〇〇】(七四・〇〇)【七四・一〇】(七四・一〇)【七四・二〇】(七四・二〇)【七四・三〇】(七四・三〇)【七四・四〇】(七四・四〇)【七四・五〇】(七四・五〇)【七五・〇〇】(七五・〇〇)【七五・一〇】(七五・一〇)【七五・二〇】(七五・二〇)【七五・三〇】(七五・三〇)【七五・四〇】(七五・四〇)【七五・五〇】(七五・五〇)【七六・〇〇】(七六・〇〇)【七六・一〇】(七六・一〇)【七六・二〇】(七六・二〇)【七六・三〇】(七六・三〇)【七六・四〇】(七六・四〇)【七六・五〇】(七六・五〇)【七七・〇〇】(七七・〇〇)【七七・一〇】(七七・一〇)【七七・二〇】(七七・二〇)【七七・三〇】(七七・三〇)【七七・四〇】(七七・四〇)【七七・五〇】(七七・五〇)【七八・〇〇】(七八・〇〇)【七八・一〇】(七八・一〇)【七八・二〇】(七八・二〇)【七八・三〇】(七八・三〇)【七八・四〇】(七八・四〇)【七八・五〇】(七八・五〇)【七九・〇〇】(七九・〇〇)【七九・一〇】(七九・一〇)【七九・二〇】(七九・二〇)【七九・三〇】(七九・三〇)【七九・四〇】(七九・四〇)【七九・五〇】(七九・五〇)【八〇・〇〇】(八〇・〇〇)【八〇・一〇】(八〇・一〇)【八〇・二〇】(八〇・二〇)【八〇・三〇】(八〇・三〇)【八〇・四〇】(八〇・四〇)【八〇・五〇】(八〇・五〇)【八一・〇〇】(八一・〇〇)【八一・一〇】(八一・一〇)【八一・二〇】(八一・二〇)【八一・三〇】(八一・三〇)【八一・四〇】(八一・四〇)【八一・五〇】(八一・五〇)【八二・〇〇】(八二・〇〇)【八二・一〇】(八二・一〇)【八二・二〇】(八二・二〇)【八二・三〇】(八二・三〇)【八二・四〇】(八二・四〇)【八二・五〇】(八二・五〇)【八三・〇〇】(八三・〇〇)【八三・一〇】(八三・一〇)【八三・二〇】(八三・二〇)【八三・三〇】(八三・三〇)【八三・四〇】(八三・四〇)【八三・五〇】(八三・五〇)【八四・〇〇】(八四・〇〇)【八四・一〇】(八四・一〇)【八四・二〇】(八四・二〇)【八四・三〇】(八四・三〇)【八四・四〇】(八四・四〇)【八四・五〇】(八四・五〇)【八五・〇〇】(八五・〇〇)【八五・一〇】(八五・一〇)【八五・二〇】(八五・二〇)【八五・三〇】(八五・三〇)【八五・四〇】(八五・四〇)【八五・五〇】(八五・五〇)【八六・〇〇】(八六・〇〇)【八六・一〇】(八六・一〇)【八六・二〇】(八六・二〇)【八六・三〇】(八六・三〇)【八六・四〇】(八六・四〇)【八六・五〇】(八六・五〇)【八七・〇〇】(八七・〇〇)【八七・一〇】(八七・一〇)【八七・二〇】(八七・二〇)【八七・三〇】(八七・三〇)【八七・四〇】(八七・四〇)【八七・五〇】(八七・五〇)【八八・〇〇】(八八・〇〇)【八八・一〇】(八八・一〇)【八八・二〇】(八八・二〇)【八八・三〇】(八八・三〇)【八八・四〇】(八八・四〇)【八八・五〇】(八八・五〇)【八九・〇〇】(八九・〇〇)【八九・一〇】(八九・一〇)【八九・二〇】(八九・二〇)【八九・三〇】(八九・三〇)【八九・四〇】(八九・四〇)【八九・五〇】(八九・五〇)【九〇・〇〇】(九〇・〇〇)【九〇・一〇】(九〇・一〇)【九〇・二〇】(九〇・二〇)【九〇・三〇】(九〇・三〇)【九〇・四〇】(九〇・四〇)【九〇・五〇】(九〇・五〇)【九一・〇〇】(九一・〇〇)【九一・一〇】(九一・一〇)【九一・二〇】(九一・二〇)【九一・三〇】(九一・三〇)【九一・四〇】(九一・四〇)【九一・五〇】(九一・五〇)【九二・〇〇】(九二・〇〇)【九二・一〇】(九二・一〇)【九二・二〇】(九二・二〇)【九二・三〇】(九二・三〇)【九二・四〇】(九二・四〇)【九二・五〇】(九二・五〇)【九三・〇〇】(九三・〇〇)【九三・一〇】(九三・一〇)【九三・二〇】(九三・二〇)【九三・三〇】(九三・三〇)【九三・四〇】(九三・四〇)【九三・五〇】(九三・五〇)【九四・〇〇】(九四・〇〇)【九四・一〇】(九四・一〇)【九四・二〇】(九四・二〇)【九四・三〇】(九四・三〇)【九四・四〇】(九四・四〇)【九四・五〇】(九四・五〇)【九五・〇〇】(九五・〇〇)【九五・一〇】(九五・一〇)【九五・二〇】(九五・二〇)【九五・三〇】(九五・三〇)【九五・四〇】(九五・四〇)【九五・五〇】(九五・五〇)【九六・〇〇】(九六・〇〇)【九六・一〇】(九六・一〇)【九六・二〇】(九六・二〇)【九六・三〇】(九六・三〇)【九六・四〇】(九六・四〇)【九六・五〇】(九六・五〇)【九七・〇〇】(九七・〇〇)【九七・一〇】(九七・一〇)【九七・二〇】(九七・二〇)【九七・三〇】(九七・三〇)【九七・四〇】(九七・四〇)【九七・五〇】(九七・五〇)【九八・〇〇】(九八・〇〇)【九八・一〇】(九八・一〇)【九八・二〇】(九八・二〇)【九八・三〇】(九八・三〇)【九八・四〇】(九八・四〇)【九八・五〇】(九八・五〇)【九九・〇〇】(九九・〇〇)【九九・一〇】(九九・一〇)【九九・二〇】(九九・二〇)【九九・三〇】(九九・三〇)【九九・四〇】(九九・四〇)【九九・五〇】(九九・五〇)【一〇〇・〇〇】(一〇〇・〇〇)【一〇〇・一〇】(一〇〇・一〇)【一〇〇・二〇】(一〇〇・二〇)【一〇〇・三〇】(一〇〇・三〇)【一〇〇・四〇】(一〇〇・四〇)【一〇〇・五〇】(一〇〇・五〇)【一〇一・〇〇】(一〇一・〇〇)【一〇一・一〇】(一〇一・一〇)【一〇一・二〇】(一〇一・二〇)【一〇一・三〇】(一〇一・三〇)【一〇一・四〇】(一〇一・四〇)【一〇一・五〇】(一〇一・五〇)【一〇二・〇〇】(一〇二・〇〇)【一〇二・一〇】(一〇二・一〇)【一〇二・二〇】(一〇二・二〇)【一〇二・三〇】(一〇二・三〇)【一〇二・四〇】(一〇二・四〇)【一〇二・五〇】(一〇二・五〇)【一〇三・〇〇】(一〇三・〇〇)【一〇三・一〇】(一〇三・一〇)【一〇三・二〇】(一〇三・二〇)【一〇三・三〇】(一〇三・三〇)【一〇三・四〇】(一〇三・四〇)【一〇三・五〇】(一〇三・五〇)【一〇四・〇〇】(一〇四・〇〇)【一〇四・一〇】(一〇四・一〇)【一〇四・二〇】(一〇四・二〇)【一〇四・三〇】(一〇四・三〇)【一〇四・四〇】(一〇四・四〇)【一〇四・五〇】(一〇四・五〇)【一〇五・〇〇】(一〇五・〇〇)【一〇五・一〇】(一〇五・一〇)【一〇五・二〇】(一〇五・二〇)【一〇五・三〇】(一〇五・三〇)【一〇五・四〇】(一〇五・四〇)【一〇五・五〇】(一〇五・五〇)【一〇六・〇〇】(一〇六・〇〇)【一〇六・一〇】(一〇六・一〇)【一〇六・二〇】(一〇六・二〇)【一〇六・三〇】(一〇六・三〇)【一〇六・四〇】(一〇六・四〇)【一〇六・五〇】(一〇六・五〇)【一〇七・〇〇】(一〇七・〇〇)【一〇七・一〇】(一〇七・一〇)【一〇七・二〇】(一〇七・二〇)【一〇七・三〇】(一〇七・三〇)【一〇七・四〇】(一〇七・四〇)【一〇七・五〇】(一〇七・五〇)【一〇八・〇〇】(一〇八・〇〇)【一〇八・一〇】(一〇八・一〇)【一〇八・二〇】(一〇八・二〇)【一〇八・三〇】(一〇八・三〇)【一〇八・四〇】(一〇八・四〇)【一〇八・五〇】(一〇八・五〇)【一〇九・〇〇】(一〇九・〇〇)【一〇九・一〇】(一〇九・一〇)【一〇九・二〇】(一〇九・二〇)【一〇九・三〇】(一〇九・三〇)【一〇九・四〇】(一〇九・四〇)【一〇九・五〇】(一〇九・五〇)【一一〇・〇〇】(一一〇・〇〇)【一一〇・一〇】(一一〇・一〇)【一一〇・二〇】(一一〇・二〇)【一一〇・三〇】(一一〇・三〇)【一一〇・四〇】(一一〇・四〇)【一一〇・五〇】(一一〇・五〇)【一一一・〇〇】(一一一・〇〇)【一一一・一〇】(一一一・一〇)【一一一・二〇】(一一一・二〇)【一一一・三〇】(一一一・三〇)【一一一・四〇】(一一一・四〇)【一一一・五〇】(一一一・五〇)【一一二・〇〇】(一一二・〇〇)【一一二・一〇】(一一二・一〇)【一一二・二〇】(一一二・二〇)【一一二・三〇】(一一二・三〇)【一一二・四〇】(一一二・四〇)【一一二・五〇】(一一二・五〇)【一一三・〇〇】(一一三・〇〇)【一一三・一〇】(一一三・一〇)【一一三・二〇】(一一三・二〇)【一一三・三〇】(一一三・三〇)【一一三・四〇】(一一三・四〇)【一一三・五〇】(一一三・五〇)【一一四・〇〇】(一一四・〇〇)【一一四・一〇】(一一四・一〇)【一一四・二〇】(一一四・二〇)【一一四・三〇】(一一四・三〇)【一一四・四〇】(一一四・四〇)【一一四・五〇】(一一四・五〇)【一一五・〇〇】(一一五・〇〇)【一一五・一〇】(一一五・一〇)【一一五・二〇】(一一五・二〇)【一一五・三〇】(一一五・三〇)【一一五・四〇】(一一五・四〇)【一一五・五〇】(一一五・五〇)【一一六・〇〇】(一一六・〇〇)【一一六・一〇】(一一六・一〇)【一一六・二〇】(一一六・二〇)【一一六・三〇】(一一六・三〇)【一一六・四〇】(一一六・四〇)【一一六・五〇】(一一六・五〇)【一一七・〇〇】(一一七・〇〇)【一一七・一〇】(一一七・一〇)【一一七・二〇】(一一七・二〇)【一一七・三〇】(一一七・三〇)【一一七・四〇】(一一七・四〇)【一一七・五〇】(一一七・五〇)【一一八・〇〇】(一一八・〇〇)【一一八・一〇】(一一八・一〇)【一一八・二〇】(一一八・二〇)【一一八・三〇】(一一八・三〇)【一一八・四〇】(一一八・四〇)【一一八・五〇】(一一八・五〇)【一一九・〇〇】(一一九・〇〇)【一一九・一〇】(一一九・一〇)【一一九・二〇】(一一九・二〇)【一一九・三〇】(一一九・三〇)【一一九・四〇】(一一九・四〇)【一一九・五〇】(一一九・五〇)【一二〇・〇〇】(一二〇・〇〇)【一二〇・一〇】(一二〇・一〇)【一二〇・二〇】(一二〇・二〇)【一二〇・三〇】(一二〇・三〇)【一二〇・四〇】(一二〇・四〇)【一二〇・五〇】(一二〇・五〇)【一二一・〇〇】(一二一・〇〇)【一二一・一〇】(一二一・一〇)【一二一・二〇】(一二一・二〇)【一二一・三〇】(一二一・三〇)【一二一・四〇】(一二一・四〇)【一二一・五〇】(一二一・五〇)【一二二・〇〇】(一二二・〇〇)【一二二・一〇】(一二二・一〇)【一二二・二〇】(一二二・二〇)【一二二・三〇】(一二二・三〇)【一二二・四〇】(一二二・四〇)【一二二・五〇】(一二二・五〇)【一二三・〇〇】(一二三・〇〇)【一二三・一〇】(一二三・一〇)【一二三・二〇】(一二三・二〇)【一二三・三〇】(一二三・三〇)【一二三・四〇】(一二三・四〇)【一二三・五〇】(一二三・五〇)【一二四・〇〇】(一二四・〇〇)【一二四・一〇】(一二四・一〇)【一二四・二〇】(一二四・二〇)【一二四・三〇】(一二四・三〇)【一二四・四〇】(一二四・四〇)【一二四・五〇】(一二四・五〇)【一二五・〇〇】(一二五・〇〇)【一二五・一〇】(一二五・一〇)【一二五・二〇】(一二五・二〇)【一二五・三〇】(一二五・三〇)【一二五・四〇】(一二五・四〇)【一二五・五〇】(一二五・五〇)【一二六・〇〇】(一二六・〇〇)【一二六・一〇】(一二六・一〇)【一二六・二〇】(一二六・二〇)【一二六・三〇】(一二六・三〇)【一二六・四〇】(一二六・四〇)【一二六・五〇】(一二六・五〇)【一二七・〇〇】(一二七・〇〇)【一二七・一〇】(一二七・一〇)【一二七・二〇】(一二七・二〇)【一二七・三〇】(一二七・三〇)【一二七・四〇】(一二七・四〇)【一二七・五〇】(一二七・五〇)【一二八・〇〇】(一二八・〇〇)【一二八・一〇】(一二八・一〇)【一二八・二〇】(一二八・二〇)【一二八・三〇】(一二八・三〇)【一二八・四〇】(一二八・四〇)【一二八・五〇】(一二八・五〇)【一二九・〇〇】(一二九・〇〇)【一二九・一〇】(一二九・一〇)【一二九・二〇】(一二九・二〇)【一二九・三〇】(一二九・三〇)【一二九・四〇】(一二九・四〇)【一二九・五〇】(一二九・五〇)【一三〇・〇〇】(一三〇・〇〇)【一三〇・一〇】(一三〇・一〇)【一三〇・二〇】(一三〇・二〇)【一三〇・三〇】(一三〇・三〇)【一三〇・四〇】(一三〇・四〇)【一三〇・五〇】(一三〇・五〇)【一三一・〇〇】(一三一・〇〇)【一三一・一〇】(一三一・一〇)【一三一・二〇】(一三一・二〇)【一三一・三〇】(一三一・三〇)【一三一・四〇】(一三一・四〇)【一三一・五〇】(一三一・五〇)【一三二・〇〇】(一三二・〇〇)【一三二・一〇】(一三二・一〇)【一三二・二〇】(一三二・二〇)【一三二・三〇】(一三二・三〇)【一三二・四〇】(一三二・四〇)【一三二・五〇】(一三二・五〇)【一三三・〇〇】(一三三・〇〇)【一三三・一〇】(一三三・一〇)【一三三・二〇】(一三三・二〇)【一三三・三〇】(一三三・三〇)【一三三・四〇】(一三三・四〇)【一三三・五〇】(一三三・五〇)【一三四・〇〇】(一三四・〇〇)【一三四・一〇】(一三四・一〇)【一三四・二〇】(一三四・二〇)【一三四・三〇】(一三四・三〇)【一三四・四〇】(一三四・四〇)【一三四・五〇】(一三四・五〇)【一三五・〇〇】(一三五・〇〇)【一三五・一〇】(一三五・一〇)【一三五・二〇】(一三五・二〇)【一三五・三〇】(一三五・三〇)【一三五・四〇】(一三五・四〇)【一三五・五〇】(一三五・五〇)【一三六・〇〇】(一三六・〇〇)【一三六・一〇】(一三六・一〇)【一三六・二〇】(一三六・二〇)【一三六・三〇】(一三六・三〇)【一三六・四〇】(一三六・四〇)【一三六・五〇】(一三六・五〇)【一三七・〇〇】(一三七・〇〇)【一三七・一〇】(一三七・一〇)【一三七・二〇】(一三七・二〇)【一三七・三〇】(一三七・三〇)【一三七・四〇】(一三七・四〇)【一三七・五〇】(一三七・五〇)【一三八・〇〇】(一三八・〇〇)【一三八・一〇】(一三八・一〇)【一三八・二〇】(一三八・二〇)【一三八・三〇】(一三八・三〇)【一三八・四〇】(一三八・四〇)【一三八・五〇】(一三八・五〇)【一三九・〇〇】(一三九・〇〇)【一三九・一〇】(一三九・一〇)【一三九・二〇】(一三九・二〇)【一三九・三〇】(一三九・三〇)【一三九・四〇】(一三九・四〇)【一三九・五〇】(一三九・五〇)【一四〇・〇〇】(一四〇・〇〇)【一四〇・一〇】(一四〇・一〇)【一四〇・二〇】(一四〇・二〇)【一四〇・三〇】(一四〇・三〇)【一四〇・四〇】(一四〇・四〇)【一四〇・五〇】(一四〇・五〇)【一四一・〇〇】(一四一・〇〇)【一四一・一〇】(一四一・一〇)【一四一・二〇】(一四一・二〇)【一四一・三〇】(一四一・三〇)【一四一・四〇】(一四一・四〇)【一四一・五〇】(一四一・五〇)【一四二・〇〇】(一四二・〇〇)【一四二・一〇】(一四二・一〇)【一四二・二〇】(一四二・二〇)【一四二・三〇】(一四二・三〇)【一四二・四〇】(一四二・四〇)【一四二・五〇】(一四二・五〇)【一四三・〇〇】(一四三・〇〇)【一四三・一〇】(一四三・一〇)【一四三・二〇】(一四三・二〇)【一四三・三〇】(一四三・三〇)【一四三・四〇】(一四三・四〇)【一四三・五〇】(一四三・五〇)【一四四・〇〇】(一四四・〇〇)【一四四・一〇】(一四四・一〇)【一四四・二〇】(一四四・二〇)【一四四・三〇】(一四四・三〇)【一四四・四〇】(一四四・四〇)【一四四・五〇】(一四四・五〇)【一四五・〇〇】(一四五・〇〇)【一四五・一〇】(一四五・一〇)【一四五・二〇】(一四五・二〇)【一四五・三〇】(一四五・三〇)【一四五・四〇】(一四五・四〇)【一四五・五〇】(一四五・五〇)【一四六・〇〇】(一四六・〇〇)【一四六・一〇】(一四六・一〇)【一四六・二〇】(一四六・二〇)【一四六・三〇】(一四六・三〇)【一四六・四〇】(一四六・四〇)【一四六・五〇】(一四六・五〇)【一四七・〇〇】(一四七・〇〇)【一四七・一〇】(一四七・一〇)【一四七・二〇】(一四七・二〇)【一四七・三〇】(一四七・三〇)【一四七・四〇】(一四七・四〇)【一四七・五〇】(一四七・五〇)【一四八・〇〇】(一四八・〇〇)【一四八・一〇】(一四八・一〇)【一四八・二〇】(一四八・二〇)【一四八・三〇】(一四八・三〇)【一四八・四〇】(一四八・四〇)【一四八・五〇】(一四八・五〇)【一四九・〇〇】(一四九・〇〇)【一四九・一〇】(一四九・一〇)【一四九・二〇】(一四九・二〇)【一四九・三〇】(一四九・三〇)【一四九・四〇】(一四九・四〇)【一四九・五〇】(一四九・五〇)【一五〇・〇〇】(一五〇・〇〇)【一五〇・一〇】(一五〇・一〇)【一五〇・二〇】(一五〇・二〇)【一五〇・三〇】(一五〇・三〇)【一五〇・四〇】(一五〇・四〇)【一五〇・五〇】(一五〇・五〇)【一五一・〇〇】(一五一・〇〇)【一五一・一〇】(一五一・一〇)【一五一・二〇】(一五一・二〇)【一五一・三〇】(一五一・三〇)【一五一・四〇】(一五一・四〇)【一五一・五〇】(一五一・五〇)【一五二・〇〇】(一五二・〇〇)【一五二・一〇】(一五二・一〇)【一五二・二〇】(一五二・二〇)【一五二・三〇】(一五二・三〇)【一五二・四〇】(一五二・四〇)【一五二・五〇】(一五二・五〇)【一五三・〇〇】(一五三・〇〇)【一五三・一〇】(一五三・一〇)【一五三・二〇】(一五三・二〇)【一五三・三〇】(一五三・三〇)【一五三・四〇】(一五三・四〇)【一五三・五〇】(一五三・五〇)【一五四・〇〇】(一五四・〇〇)【一五四・一〇】(一五四・一〇)【一五四・二〇】(一五四・二〇)【一五四・三〇】(一五四・三〇)【一五四・四〇】(一五四・四〇)【一五四・五〇】(一五四・五〇)【一五五・〇〇】(一五五・〇〇)【一五五・一〇】(一五五・一〇)【一五五・二〇】(一五五・二〇)【一五五・三〇】(一五五・三〇)【一五五・四〇】(一五五・四〇)【一五五・五〇】(一五五・五〇)【一五六・〇〇】(一五六・〇〇)【一五六・一〇】(一五六・一〇)【一五六・二〇】(一五六・二〇)【一五六・三〇】(一五六・三〇)【一五六・四〇】(一五六・四〇)【一五六・五〇】(一五六・五〇)【一五七・〇〇】(一五七・〇〇)【一五七・一〇】(一五七・一〇)【一五七・二〇】(一五七・二〇)【一五七・三〇】(一五七・三〇)【一五七・四〇】(一五七・四〇)【一五七・五〇】(一五七・五〇)【一五八・〇〇】(一五八・〇〇)【一五八・一〇】(一五八・一〇)【一五八・二〇】(一五八・二〇)【一五八・三〇】(一五八・三〇)【一五八・四〇】(一五八・四〇)【一五八・五〇】(一五八・五〇)【一五九・〇〇】(一五九・〇〇)【一五九・一〇】(一五九・一〇)【一五九・二〇】(一五九・二〇)【一五九・三〇】(一五九・三〇)【一五九・四〇】(一五九・四〇)【一五九・五〇】(一五九・五〇)【一六〇・〇〇】(一六〇・〇〇)【一六〇・一〇】(一六〇・一〇)【一六〇・二〇】(一六〇・二〇)【一六〇・三〇】(一六〇・三〇)【一六〇・四〇】(一六〇・四〇)【一六〇・五〇】(一六〇・五〇)【一六

日本經濟聯盟の閣僚招待……國賓はわが國財界人の最上層を以つて組織する日本經濟聯盟の招待に應じ來朝中の同盟國の閣僚一行の内、東京八の西工業倶樂部に開催を待望したところ、左から前田商相、大兼商相、會長郷誠之助、高橋藏相、芳澤外相等

近く開業する 滿洲中央銀行

副總裁は山成元臺銀重役

【東京二日發電通】滿洲國中央銀行の設立準備は過般の三井、三菱兩行が鮮銀經由融通した二千萬圓の融資を受けて近く開業すべく愈々滿洲國幣制確立　滿洲國金融統制等重要事業に着手することとなつたが同行總裁には元臺灣銀行頭取山成喬六氏に決定し氏は二日午後九時四十五分東京發急行の列車へ向つた　氏は滿中京城に廻三日京城にて朝鮮銀行當局と滿銀の具體的手續きその他重要協議を行ふこととなつてゐる

山成副總裁は 臺灣の緣故者

東洋製糖の社長もやつた人で 阪谷男の甥に當る

【東京電報】の如く本國の山成喬六氏が今度新中央銀行の副總裁となり二百萬圓出資の總裁阪谷芳郎氏の甥に當り又東洋製糖の社長であつた關係上臺灣財界の人々とも關係深く今回の人事は一般に歡迎されてゐる

山成氏は明治十年生れ東京帝大法科を卒業後大藏省に入り主計局長、理財局長、銀行局長を經て大正十年勅選貴族院議員となり同年十月日本興業銀行總裁に就任、昭和二年三月東洋製糖會社社長に轉じ同年十一月臺灣銀行頭取に就任、同六年六月再び日本興業銀行總裁に就任、同年十二月退任、同七年一月臺灣銀行頭取に就任、同年十二

安武さんの観た社會事業諸施設

文教局長初巡視記 (二)

◇大和町は公質の巻◇

一年に就いては説明致致置度至玉萬化就出者於て、八十萬圓に反ひ、從つて私設團の設は當然のの割ひ合地には殊に設置をもの當に於いも此の現設はれ置ける所であらう。所公設の一割合に組入れてるか特別あるまい、文教局長は公設をのぞき設置者に對して歩いたが、市内各お隣に於て原り物は殊に附しての際に於ては、一般會計に組入れてるのは特別會計に繰入れてるのは無理もあ

選手派遣費として
御内帑金を御下賜
畏き聖上陛下の思召し
オリムピック

【臺北三日發電通】聖上陛下には夙にオリムピック大會に關心あらせられては屢〻御下問の御言葉から我國スポーツマンシップの發揚に就いては深く大御心を惱ませられて居られるが、今夏七月三十日から八月十四日迄羅府（ロスアンゼルス）に開催される第十回オリムピック大會に我國から參加する選手團の旅費として御内帑金十萬圓を支出する他、六大都リーグの十萬圓寄附等を合せて選手團の編成不能となり、日本體育協會、オリムピック後援會等が協力して民間有志の寄附を求めてゐる事を御聞及びの聖上陛下には「スポーツマンシップを通じて國際親善を圖るやう」との叡慮を以て御内帑金下賜の御内意を傳へられ、宮內當局は文部當局を通じて三日夫の御旨を傳達したが、此く正に御出される事となつた、此の御内帑金は日本體育協會を經由して羅府へは送附してある

叛亂軍の蜂起て
通化は全く死の街
附近の支那部落燒打さる
辛くも脫出した一鮮人が奉天警察署に持參

【奉天二日發電通】通化の叛亂軍は通化に據る數千の匪團が通化に對する攻撃の際に於ける通化地區の情況で最後の攻撃を決行せんとする模樣にて通化の街は全く死の街と化し、附近の支那部落は燒打ちされ、通化に在留する邦人は全部安全地帶に避難し、通化の叛亂軍は全く潰滅に歸したものと見られ、奉天警察署に於ては通化に殘留する邦人の安否を憂慮し、通化に在留する一鮮人を通化に派遣して通化の實情を探らしめたが、其の一鮮人は通化を脫出し、二日奉天に到着し、通化の實情を報告したが、其の報告によれば通化は全く死の街と化し、叛亂軍の蜂起で通化の街は全く死の街と化し、叛亂軍の蜂起で通化の街は全く死の街と化し、叛亂軍の蜂起で通化の街

漢文臺灣日日新報

孫科與蔣汪二氏會見後
廣東派背反中央

三日上海電。通信。孫科氏於去二日。對胡漢民氏打電曰。近將往杭州。與蔣介石。汪兆銘諸氏會見。若余之救國希望。南京不見容。則余決心。將與南京絕交。孫科與蔣。汪會見後。彼其結果如何。廣東派或對中央益叛族。其時期當在停戰協定簽印後十日以內也。

通化々成死市
領事分館僅有國旗
全市閉門不見人影

二日奉天電。據偵察通化情況之我飛行機報告。昨通化為中心之二里四方一帶。全無人影。二日午後四時通化城內。各戶全部閉門化成死市。時々惟見反亂軍二三而已。我領事分館揭七個之大小日章旗。對於機上信號。無一人出來。館員生命。恐屆無事。或被監禁其體的手續。且協議他事要事。

大刀會匪包圍我軍
穗西臺子死傷十五

二日奉天電。據偵察機線山城子駐在警官。對奉天警察入電。稱在穗西臺子。向大刀會匪激戰。我警官隊戰死傷者十五名。又警官隊。自穗西臺子部落。至東方山上一帶。數千大刀會匪。包圍該小山云。

不動產資金化案
高橋藏相會見兩氏

三日東京電。政友會大口財界對策委員長。山崎政務調查會長。二日夕刻。訪高橋藏相於其官邸。提示左記與商財界對策案。冀高橋決定不動產資金化案。促藏相考慮。高橋藏相謂該案。與大藏省案。乃大同小異者。唯設特別會計。使日銀引受五億圓之公債。實際困難。促其再考。兩氏諒之。約再會面辭去。一、該案之骨子如左。一、政府設特別會計。以五億圓為限度。發行二分利公債。使日銀引受。一、政府將其資金。充為銀。與銀其他低利債券應募。其利率為二分五厘以內。一、為銀以其資金。受地方銀行所有不動產債券。或取為擔保。直接融通資金。一、政府若命據定之一定限度以上融通時。其差額國家補償之。

重光公使
脚部必切斷

三日上海電。重光公使之脚部切斷。緊師極力避之。然公使會見通信省。船舶課長重光工學博士。及酒子夫人本日到著。最後協議後將決定。結局除切斷之外。別無良法也。

顧維鈞氏
仍居旅館不出

三日新京電。顧維鈞一行入都。以臨機處置。作隨行形式。顧維鈞等到事到著時。即入旅館。避一切面會。又俄敦那於三日午後。與謝外交總長會見協議明治糖株主會
云不脫稅
並不買收官吏

三日東京電。明治製糖。二舟花丸之內同社。開京濱在住二千株以上株主會。山田取締役。表明無脫稅事實及無稅關事實收行為。消費稅準。與大藏省間有協定。又相馬社長。有島專務。近合得為自由之身。若解決。遲延時。當隨適宜

全稻江焚熟炭戶口
現達百分之九十五
煤煙防止會大成功
餘僅大龍峒町小部分

大稻埕。煤煙防止會。自成立以來。由會長郭廷俊氏。手挫二十八戶。由皆內各町觀之。率先實行者。為永樂町四丁目。而永樂町現在焚燃熟炭者。已達百分之九十五。唯殘留大龍峒町一小部分。但是町住民。亦因焚熟炭有花輪警防。楊窗生主任等。生花等。受煤煙之害。不思栽培。大為叫苦。明得早。日實行。加之熟炭。雖貼於生炭。然若由火力觀之反廉。一般若市民。皆自發的實行。往日之疑團釋去。是故昨今由江山樓高處。顧問岩田北署長。楊窗生主任等指導。及北區衛生會。自去二月間組織。至今不逸四箇月間。大集效果。實為可喜。然此間幾多辛苦。亦自不少云。

奸商混生炭
市民要注意

楊衛生主任談

又據楊窗生主任談曰。

由高處望之
歷々在目
岩田署長談

岩田北署長談曰。煤煙防止會。努力結果。現在焚燃熟炭者。已達百分之九十五。唯殘留大龍峒町一小部分。但是町住民。亦因焚熟炭有花輪警防。楊窗生主任等。受煤煙之害。不思栽培。大為叫苦。明得早。日實行。加之熟炭。雖貼於生炭。然若由火力觀之反廉。一般若市民。皆自發的實行。往日之疑團釋去。是故昨今由江山樓高處。顧問岩田北署長。楊窗生主任等指導。及北區衛生會。自去二月間組織。至今不逸四箇月間。大集效果。實為可喜。然此間幾多辛苦。亦自不少云。

外交次長郭泰祺氏
被學生四五十名襲擊
面負裂傷學生被執

三日上海電至急報。外交次長郭泰祺氏。今朝在自宅。被學生四、五十名所襲。顏面首裂傷昏倒。犯人學生六名被捕。郭在病床。云停戰交涉欲繼續云。

建美國式精鍊所
籌增產金量

南總督。為二日間。視察金瓜石礦山。逐步感想如左。

今回視察。金瓜石礦山。其景色似內地加納山。實地觀探掘。當掘金含有量十石二三名中。有新任臺北州內務部長稻元。當吉氏來臺。氏身長五尺八寸。體格堂々。係生于鹿兒島市外吉野村。

稻元臺北州
內務部長抵任

朝日九。去三日午後零時半。入基隆港。乘客四百餘。

殖產局集課長等
議產業振興策
斟酌總督意見
計上明年豫算

南總督。豫定五日晉京。為是殖田殖產局長。欲於總督晉京前。召集課長。及振興方針。去三日午前十時。在局長公室。集局內及營林所各課長。並技師及主任等。開磋商會。結局所略。定者如下。商工課就大然瓦斯利用。及發成商業實習生。特產課。調查務部長稻元。當吉氏來臺。

南總督
五日晉京

南總督。豫定來五日晉京。現經內閣參詢中。諒無變更準定。又平塚長官。豫定來十一日起一週間。初視察東部臺灣。及鵝鼻等處。

滿洲銀行副總裁
內定元山成臺銀重役

三日東京電。滿洲國中央銀行設立準備。前山三井。三菱兩行。經由齋藤全無人影。二日午後四時通化為中心之二里四方一帶。全無人影。二日午後四時通化城內。各戶全部閉門化成死市。時々惟見反亂軍入電。稱在穗西臺子。向大刀會匪激戰。我警官隊戰死傷者十五名。又警官隊。自穗西臺子部落。至東方山上一帶。數千大刀會匪。包圍該小山云。

不動產資金化案
高橋藏相會見兩氏

三日東京電。政友會大口財界對策委員長。山崎政務調查會長。二日夕刻。訪高橋藏相於其官邸。提示左記與商財界對策案。冀高橋決定不動產資金化案。促藏相考慮。高橋藏相謂該案。與大藏省案。乃大同小異者。唯設特別會計。使日銀引受五億圓之公債。實際困難。促其再考。兩氏諒之。約再會面辭去。一、該案之骨子如左。一、政府設特別會計。以五億圓為限度。發行二分利公債。使日銀引受。一、政府將其資金。充為銀。與銀其他低利債券應募。其利率為二分五厘以內。一、為銀以其資金。受地方銀行所有不動產債券。或取為擔保。直接融通資金。一、政府若命據定之一定限度以上融通時。其差額國家補償之。

調查委員中間報告
配付於理事國代表

二日齋藤電。中國調查委員中間報告。一日夜到著。法國譯文作製後。二日午後二時。配附於理事國代表。內容分作三項。要點如左。第一項。本委員會。依十二月十日之理事會決議。入滿洲。目下進行調查。先是日滿兩國。懸取各方面人士意見。第二項。昨年九月十八日以來。滿洲各軍隊勢力如左。日本正規軍二萬二千四百。滿洲國軍八萬五千。地方警察隊十一萬九千。右對抗各軍隊的勢力十九萬。匪賊五萬。第三項。本委員會。此際關於滿洲情勢。欲避委員會自身。解釋之餘地。而由第二項軍隊勢力結論。日本軍於現狀之下。撤退不能。乃日本之主張。本委員會意見並解決方法之要表。讓於最終報告。

滿洲銀行副總裁
內定元山成臺銀重役

三日東京電。滿洲國中央銀行設立準備。前山三井。三菱兩行。經由齋藤全無人影。二日午後四時通化城內。各戶全部閉門化成死市。時々惟見反亂軍二三而已。我領事分館揭七個之大小日章旗。對於機上信號。無一人出來。館員生命。恐屆無事。或被監禁其體的手續。且協議他事要事。

大刀會匪包圍我軍
穗西臺子死傷十五

二日奉天電。據偵察機線山城子駐在警官。對奉天警察入電。稱在穗西臺子。向大刀會匪激戰。我警官隊戰死傷者十五名。又警官隊。自穗西臺子部落。至東方山上一帶。數千大刀會匪。包圍該小山云。

家母病危
制止機又故障
杜清泉氏談

右杜清泉氏。於事故發生同時。被北署召喚。所談大體相同。不必栽培。大為叫苦。明得早。日實行。加之熟炭。雖貼於生炭。然若由火力觀之反廉。一般若市民。皆自發的實行。往日之疑團釋去。是故昨今由江山樓高處。顧問岩田北署長。楊窗生主任等指導。及北區衛生會。自去二月間組織。至今不逸四箇月間。大集效果。實為可喜。然此間幾多辛苦。亦自不少云。

家用自動車在永樂市場口
衝倒行人續報
被害者全治須四週間

夕刊所報。臺北市內大橋如左。

今回家母病篤。乃於午前十時過。駛自家自動車。往榮町谷口醫院延校長發來。招待各關係者。

彰化
夏服衣料

彰化街內諸呉服商。為擴張夏服衣料。俱設景品招徠。景氣頗佳。

街兒童日

五日彰化兒童日。由街役場主催行事如左。一、

臺北二中
創立十周年
記念會

臺北州第二中學校。本年適該校創立十周年。訂本月八日午前九時。在該校內。舉記念式。同十時開記念運動會。又頒記念雜誌。黎九日午後一時。開學藝會。次山崎尾州視學。介場主催行事如左。一、

中洲有志者
乘嘉南圳通水
設試驗圃

新埤郡鹽水街皆內中洲。田畝。係埤郡內。最低地。一帶。為鹽分地。雖以栽植農作物。致成荒埔。此回嘉南大圳通水之際。有該地中洲區長蔡潤嘯張保雨氏。為人望力。住址氏名英詳。合同會社。想始終為學務部長。不圖今回。受某方面懇請。就任臺北州內務部長。同氏為大正三年。東大畢業生。年齡約三十左右。狀若本島人。

劍潭寺前森林內
縊死體腐爛墜落
狀若本島人苦力

臺北市大宮町百二十番地。即劍潭寺前基隆河岸森林內。去三日午前七時四十分。有縊死體腐爛墜落。音樂女子。國語講習。所之流。後感想談。無師事。及批評後。有剪丸親。恩謝評。午後二時閉會。

協議獻金

東石郡下信用組合長。去二日午前九時。齊集於郡役所。協議兵器獻金。及其他二三要事。至正午閉會。

詩壇

雨夜　灰笛渡峰　二君過訪賦呈

笑傲　楊梅德
客次逢知己。愁中一破顏。孤燈吟夜雨。短榻話深山。岩徑酒遲債。名場競逐艱。感君慰岑寂。幾度叩柴關。

感吟　同
酒遍唐衢淚。懷零已十年。小窓微雨夜。濃酒曉寒天。神世於兵抱。芳生未息肩。鄉閭何處是。遠棹渡茫然。

病中感作　同
窓顏憔悴半於斯。消渴相如懶賦詩。殘月窺窓風料峭。孤燈照榻夢迷離。百年身世空惆悵。一曲笙歌轉悲悲。却憐半生閒仲景。自家有病不能醫。

客次雜詠　同
客次雜詠。雲雨如膏未放晴。客次別無消遣法。

文教局長
巡視新莊詳報

既報。安武文教局長。為巡回國語講習所。男女對于修養之道。至太平町三丁目市場口。衝倒一行人一名。其後被害者。往臺北醫院。後查明其人為本居。建築中州警察郡豐原街六十番地。邱住臺北市日新町二丁目。七十六番地林啓風。左足脫臼。顏面及胸部負傷。全週要四週間云。

家母病危
制止機又故障
杜清泉氏談

右杜清泉氏。於事故發生同時。被北署召喚。所談大體相同。不必栽培。大為叫苦。明得早。日實行。加之熟炭。雖貼於生炭。然若由火力觀之反廉。一般若市民。皆自發的實行。往日之疑團釋去。是故昨今由江山樓高處。顧問岩田北署長。楊窗生主任等指導。及北區衛生會。自去二月間組織。至今不逸四箇月間。大集效果。實為可喜。然此間幾多辛苦。亦自不少云。

由高處望之
歷々在目
岩田署長談

岩田北署長談曰。煤煙防止會。努力結果。現在焚燃熟炭者。已達百分之九十五。唯殘留大龍峒町一小部分。但是町住民。亦因焚熟炭有花輪警防。楊窗生主任等。受煤煙之害。不思栽培。大為叫苦。明得早。日實行。加之熟炭。雖貼於生炭。然若由火力觀之反廉。一般若市民。皆自發的實行。往日之疑團釋去。是故昨今由江山樓高處。顧問岩田北署長。楊窗生主任等指導。及北區衛生會。自去二月間組織。至今不逸四箇月間。大集效果。實為可喜。然此間幾多辛苦。亦自不少云。

奸商混生炭
市民要注意

楊衛生主任談

又據楊窗生主任談曰。

顧維鈞氏
仍居旅館不出

三日新京電。顧維鈞一行入都。以臨機處置。作隨行形式。顧維鈞等到事到著時。即入旅館。避一切面會。又俄敦那於三日午後。與謝外交總長會見協議

明治糖株主會
云不脫稅
並不買收官吏

三日東京電。明治製糖。二舟花丸之內同社。開京濱在住二千株以上株主會。山田取締役。表明無脫稅事實及無稅關事實收行為。消費稅準。與大藏省間有協定。又相馬社長。有島專務。近合得為自由之身。若解決。遲延時。當隨適宜

重光公使
脚部必切斷

三日上海電。重光公使之脚部切斷。緊師極力避之。然公使會見通信省。船舶課長重光工學博士。及酒子夫人本日到著。最後協議後將決定。結局除切斷之外。別無良法也。

顧維鈞氏
仍居旅館不出

三日新京電。顧維鈞一行入都。以臨機處置。作隨行形式。顧維鈞等到事到著時。即入旅館。避一切面會。又俄敦那於三日午後。與謝外交總長會見協議

明治糖株主會
云不脫稅
並不買收官吏

三日東京電。明治製糖。二舟花丸之內同社。開京

購買時
請注意
商標品名

近來魚目混珠類似品甚多價錢雖賤而效力甚微終不能匹敵有信用之味の素凡在店舖請注意商標是荷

味の素
調味精粉
登錄商標
(宮內省御用達)　味の素本舖　鈴木商店

1—28